

EloView4 ユーザーガイド UM600758

<https://secure.eloview.com>

対象製品 OS	対応可能ソフトウェアバージョン
Android 7.1 AOSP	3.64.87 以上
Android 8 AOSP	4.64.80+a 以上
Android 8 GMS	4.64.114 以上
Android 10	5.000.029.0041+p 以上
Android 12	6.000.022.0052+p 以上
Android 14	制限なし

また、弊社 MDM(EloView)を使用しない場合のユーザーガイドは UM600704 を参照して下さい。

デフォルトの"Control Panel Password"が「1elo」になっている場合は、ハードウェアのコントロールパネルを表示できる場合があります。その場合、パスワードを変更して下さい。Admin password のデフォルトは「1elo」です。

注意) OS イメージは、Android のセキュリティに関する公開情報への対応や機能改善などのために定期的にアップデートされます。各デバイスの OS イメージを新しいバージョンにアップデートすることは可能ですが、古いバージョンに戻すことはできません。使用するファイル名は、アルファベット及び数字のみご使用ください。

初回起動時の時刻同期についての注意事項

新品のデバイスは、初期状態ではシステム時刻が正しく設定されていない場合があります。システム時刻のずれにより、EloView 4 (EV4) サーバーと正常に通信できないことがあります。そのため、初回起動時は以下の NTP サーバーとの通信を許可してください。

- ・ *.android.pool.ntp.org (* は 0~3)
- ・ time.google.com

デバイスは、EloView/GMS/Android の三つのモード選択画面が表示される前の段階で、NTP サーバーと通信して時刻同期を行います。

備考)企業内ネットワークで NTP がブロックされている場合、Wi-Fi ルーターの NTP トラフィック規制の影響、ファイアウォールなどの設定の影響などには注意して下さい。

注意)タッチの反応が悪いと感じられる場合の対応

Android 搭載のタッチ PC をご利用の際、「指の腹で押し付けるようにタッチすると反応が悪い」と感じる場合があります。これは、Android OS のジェスチャ判定によるものである可能性が高いです。Android には、1本の指の動きに対して複数の動作(ジェスチャ)が割り当てられています。指を強く押し付けたり、接地面積が広がったりすると、システムが「タップ」ではなく「別の動作」として誤認識してしまうことがあります。

特に Web アプリでは、反応が悪いと認識される傾向が高いようで、その対策としましては、JavaScript の Pointer Events (pointerdown) の利用が効果的です。

Copyright © 2024 Elo Touch Solutions, Inc. All Rights Reserved. (不許複製・禁無断転載)

本書のいかなる部分も、Elo Touch Solutions, Inc. の書面による事前の許可なく、いかなる形式・手段（電子的、磁氣的、光学的、化学的、手動的、その他の手段を含む）によっても、複製、送信、複写、検索システムへの記録、またはいかなる言語あるいはコンピューター言語への変換も行うことはできません。

免責事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。Elo Touch Solutions, Inc. およびその関係会社（「Elo」と総称します）は、本書の内容に関して何らの表明も保証もいたしません。特に、本製品の商品性および特定目的への適合性について、いかなる暗示的保証もいたしません。Elo は、他者に対する事前通知の義務を負うことなく、適宜、本書の内容を改定・変更する権利を有しています。

商標について

Elo (ロゴ)、Elo Touch Solutions、IntelliTouch、iTouch、EloViewは、Elo およびその関連会社の登録商標です。Windows は、Microsoft Corporation の商標です。Google、Google Chrome、Google Play、Googleマップ、Androidは、Google LLCの商標です。Firefoxは、米国 Mozilla Foundationの登録商標です。TeamViewerは、TeamViewer GmbHの登録商標です。

EloView4について

EloView4とは弊社の親会社であるElo Touch Solutionsが、行っているMDM(Mobile Device Management)の最新版です。EloView4を用いると、以下の概要の項目などを容易に行うことができます。以下にアクセスして、使用する場合は、アカウント申請をして使用して下さい。 <https://secure.eloview.com>

EloView4の概要

- 1) アカウント管理
 - a) 複数人での管理(権限を付与したユーザー追加が可能)
 - b) サブアカウントでの管理(エンドユーザー毎の対応)
- 2) デバイス管理

備考)1 アカウントで管理できるデバイス数のデフォルトは 10 台です。弊社に依頼いただくと最大 100,000 台に変更できます。

- a) 登録管理(csv ファイルによる一括登録)
 - b) WiFi 設定(csv ファイルによる事前登録)
 - c) 輝度、音量設定等
 - d) リブート
 - e) ナビゲーションバー表示/非表示管理
 - f) グループ管理 備考)1 グループで管理可能な台数は 15,000 台です。
 - g) デバイス情報出力(csv ファイル)
- 3) コンテンツデリバリー

備考)登録できるコンテンツの容量は最大 2GB で、1 アカウントで登録できる最大コンテンツ数は 370 です。

- a) APK
- b) Web アプリ
- c) 静止画(jpeg,png,pdf)及び動画 mp4 備考)複数の静止画はスライドショー表示になります。
- 4) OS の管理(image のアップデート)
- 5) コンテンツ起動のスケジューリング(メインアプリ以外のコンテンツ)
- 6) メインコンテンツ配信の時間指定
- 7) スクリーンセーバーのような設定が可能 (Attract loop)
- 8) メインアプリとは別のアプリ(音声や通信など)をバックグラウンドで動作させることが可能(Bundle)
- 9) TeamViewer の利用 備考)TeamViewer のライセンスは別途必要です。

但し、現在、本MDMは、日本語対応しておりません。また、インターネットエクスプローラーには対応しておりませんので、Google ChromeやMozilla FirefoxなどのWebブラウザソフトを使用して下さい。
不明な場合、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

タッチパネル・システムズ サポートセンター

電話番号: 03-5464-5835、FAX番号: 03-5464-5478

e-mail: tpstech@tps-support.com

受付時間: 月曜日～金曜日(但し、弊社指定休日は除く) 9:00～12:00、13:00～17:00

注意事項)EloView や本体表示内容は、アップデートされ、本説明書と異なる場合があります。

説明図の配置は、製品や状況によって横長で表示される場合があります。

目次

1.	EloView4 アカウント取得.....	6
1.1	EloView4 アカウントの作成及びログイン.....	6
1.2	サブアカウント(Sub account).....	8
1.3	OrgID 確認.....	10
1.4	EloView 開発者向け情報.....	11
1.5	https://www.elotouch.com/eloview への掲載情報.....	11
2.	アカウント設定(Accounts).....	12
2.1	「Time Zone」の設定.....	13
2.2	言語設定(Language).....	14
2.3	「Branding」(デバイスの「Elo Home」画面のカスタム化).....	15
2.4	「Customize」(EloView 画面のカスタム化).....	16
2.5	「Control Panel Password」の確認.....	16
2.6	ユーザーインバйт及びデリート.....	17
2.6.1	ユーザーインバイト.....	17
2.6.2	ユーザーデリート.....	19
2.7	WiFi 設定(DFS 設定).....	20
3.	デバイス関係(Devices).....	21
3.1	デバイス登録.....	21
3.1.1	csv ファイルを使用しての一括登録.....	22
3.2	デバイス削除.....	23
3.3	「Settings」.....	24
3.3.1	「Brightness」、「Volume」.....	25
3.3.2	「Display Timer」.....	25
3.3.3	ナビゲーションバー表示や Power button の有効/無効選択等の設定.....	25
3.3.4	「Orientation」.....	25

3.3.5	WiFi 設定	26
3.3.6	Reboot 手動実行	29
3.3.7	MIC 有効化設定	29
3.3.8	Whitelist 設定	29
3.3.9	表示画面の確認(スクリーンショット)	30
3.4	OS のアップデート	30
3.5	Reboot Timer	31
3.6	グループ管理/フィルター管理/タグ管理	33
3.6.1	グループ登録	33
3.6.2	Gr 管理での各種設定	35
3.6.3	Filter による管理	37
3.6.4	Tag による管理	37
3.7	登録 Device 情報一括出力	39
3.7.1	Device 情報のファイル出力	39
4.	コンテンツ関係(Content)	40
4.1	アプリケーション/コンテンツのアップロード	40
4.1.1	単独コンテンツのアップロード	40
4.1.2	Attract の登録	45
4.1.3	Bundle の登録	48
4.2	アプリケーション/コンテンツのアンインストール(削除)	51
4.2.1	EloView からの削除	51
4.2.2	デバイスからの削除	51
4.3	アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除	52
4.3.1	“Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール	52
4.3.2	“Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツの削除	56
4.3.3	“Multi App” モードでの“Elo Home”画面へのアプリアイコン表示(インストール)	57
4.4	Web アプリのための設定変更	60

5.	アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule)	64
5.1	アプリケーション動作スケジュールの作成	64
5.2	アプリケーション動作スケジュールの削除	66
6.	ネットワーク要件	67
EloView 4 必須ドメイン		67
Time Synchronization (NTP)		68
Cloudflare CDN		68
Required Ports & Protocols		68
7.	TeamViewer の使用	69
8.	PoE アダプタ使用時の対応	69

1. EloView4 アカウント取得

1.1 EloView4 アカウントの作成及びログイン

注意) ページ構成は変更になっている場合があります。

弊社からの返信などは、直後に自動的に届くわけではありませんが、45 日間のトライアルはすぐにご利用になれます。

既にトライアルに登録済みで本登録を急ぎの場合は、弊社サポートセンターに使用する Email アドレス情報を含め、お知らせください。本登録には事前にトライアルでの登録が必要です。

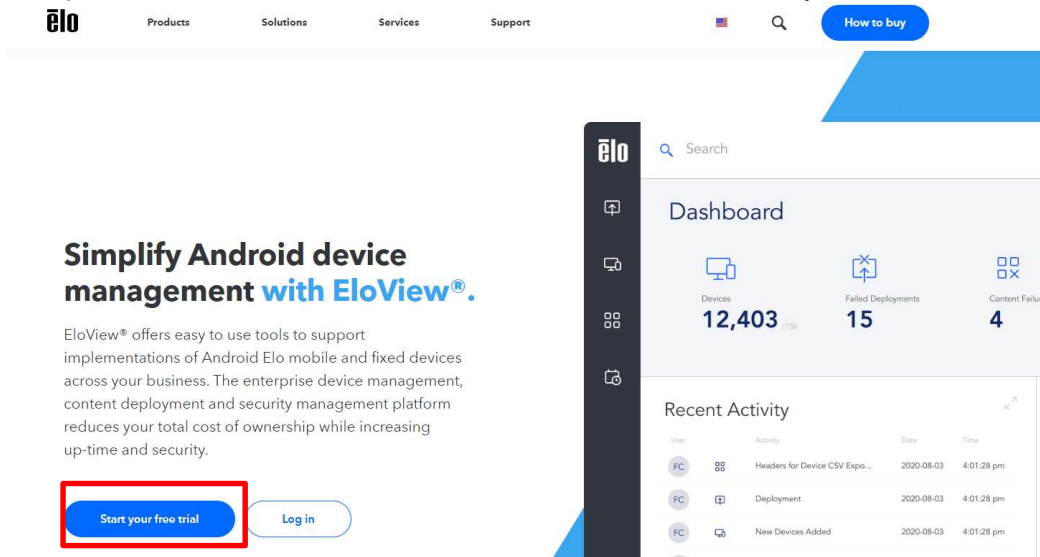
登録する Email アドレスには Gmail などは使用せず、会社のドメインを使用してください。承認されない場合があります。

EloView アカウント取得直後、管理できる最大デバイス数は 10 台で登録されます。

それ以上のデバイスをコントロールする場合は、EloView アカウント取得後に、弊社までお問い合わせ下さい。

但し、1 アカウントで登録可能なデバイス数を 100,000 台以上に拡張することはできません。

1) 「<https://www.elotouch.com/eloview/>」をブラウザソフトで開き、「Start your free trial」をクリックしてください。



2) 以下のアカウント作成のページが開きます。(フリートライアル)

Already a Member? [Log In](#)

アカウントとして使用するメールアドレスとパスワードを入力して、「Sign Up」をクリックしてください。

パスワードの長さは、大文字のアルファベット、数字、記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。

一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。

二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。

三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。

パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。(「」は、含みません)

「123456789012」, 「ABCDEFGHijkl」(使用している文字の種類は、1種類ですが、12 文字以上の場合は、使用可能です。)

「12345ABCDE」(使用している文字の種類が、2 種類なので、10 文字以上の場合は、使用可能です。)

「123ABC#%」(使用している文字の種類が、3 種類なので、8 文字以上の場合は、使用可能です。)

3) メール送信のメッセージが表示され、設定したメールに「Email Verification Code」のメールが届きます。

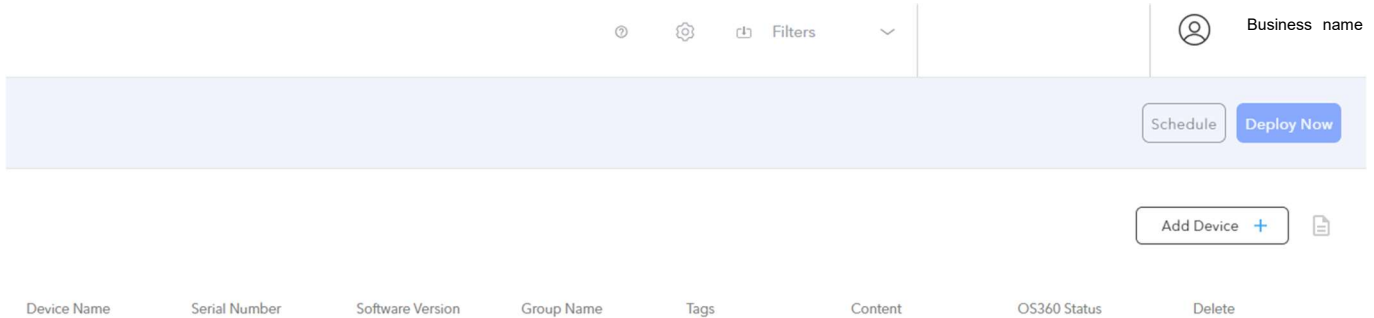
4) 表示された画面に、上記 Email に記載された「Your verification code」を入力し、「Submit」をクリックします。

注意)このアカウントの状態はトライアルです。実際のシステムでご使用される場合は、弊社営業部門あるいはサポートセンターまで連絡し、継続して利用するアカウントの状態に変更する必要があります。また、使用するデバイス数がデフォルトでは 10 台なので、それ以上の台数で使用する場合は、その台数の設定も変更する必要があります。

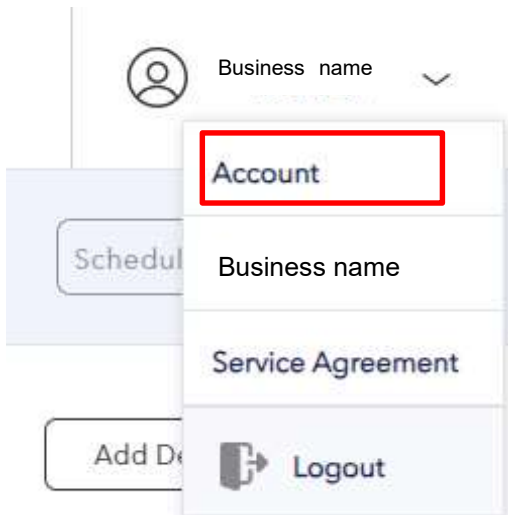
(この変更に費用は発生しません)

- 5) ログイン画面に切り替わりますので、設定したメールアドレスとパスワードを入力し、「Log In」をクリックするとログインできます。

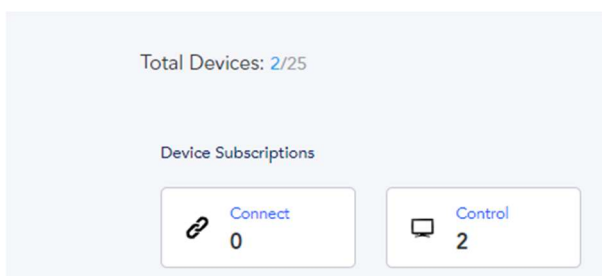
以下がログイン後の画面(デバイス表示)の例です。



右上の Business name 部(実際の表示は登録された名前)をクリックすると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



「Account」をクリックし、表示される画面右上に Total Devices が表示されます。この例の場合、最大 25 台が管理可能台数で、2 台が登録中ということになります。



また、「Site Contact」の下に、アカウントの Email アドレス等が表示されています。

Site Contact

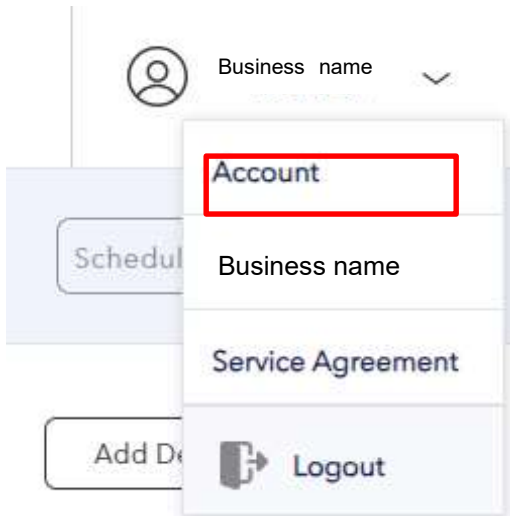
XXXXX XXXX(登録名)

????@???.com(Email アドレス)

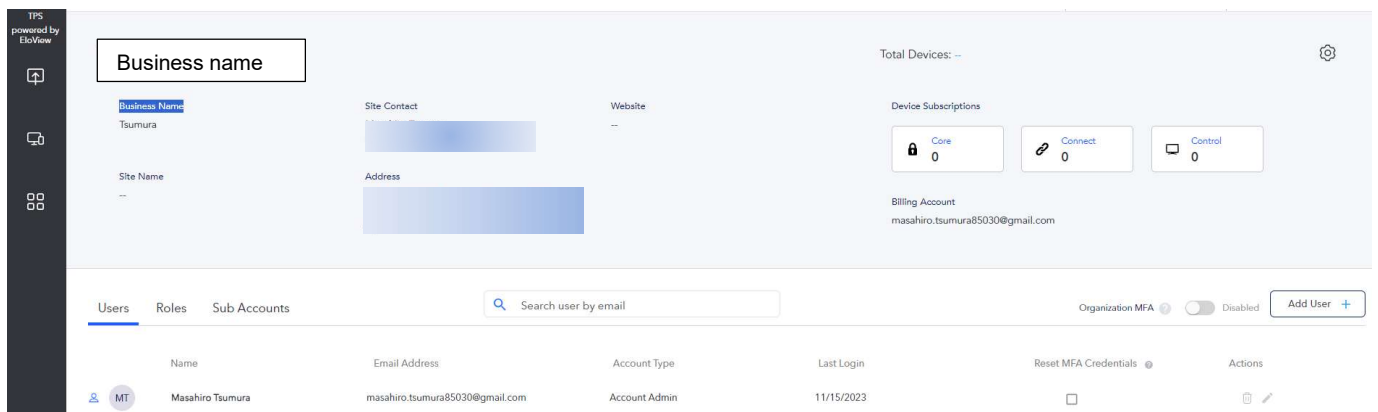
1.2 サブアカウント(Sub account)

サブアカウント(Sub account) を作成し、複数の“Child”アカウントを管理することが可能になります。
(複数のエンドユーザーをお持ちで、そのエンドユーザーのアプリや配信も管理する場合には有効です。)
備考)サブアカウント数に上限はありません。

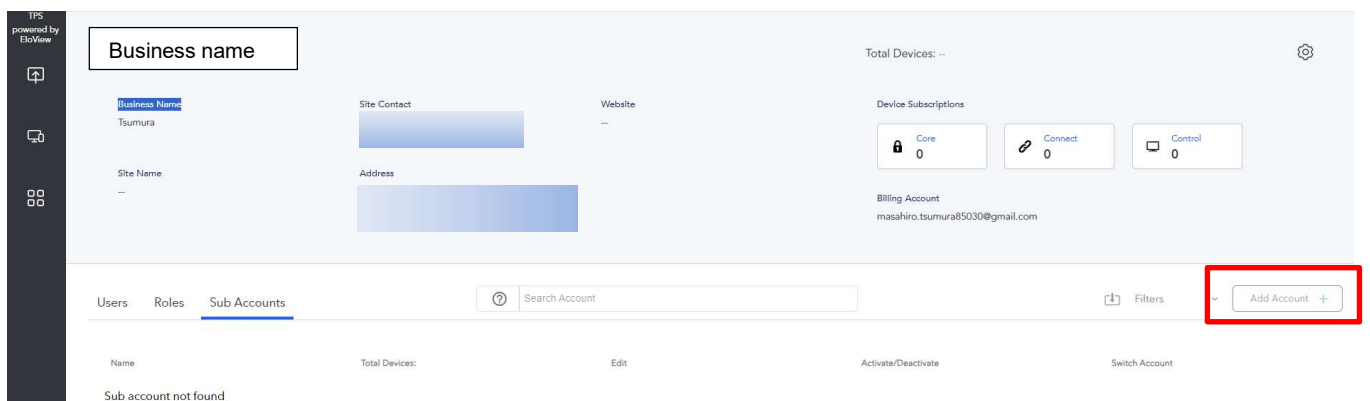
1)画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。



2)Account の詳細情報が表示された画面の「Sub Accounts」タブを選択します。

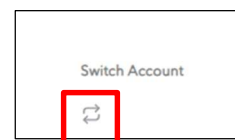


3)右下の「Add Account+」をクリックすると、サブアカウントが追加できます。追加できない場合は、弊社まで依頼してください。その際に、Email アドレスと OrgID が必要になります。



4)サブアカウントに入る場合は、右側の右下の「Switch Account」下のアイコンをクリックしてください。

サブアカウントの EloView 画面(ロゴなど)も、カスタマイズすることが可能で、複数のエンドユーザーを識別管理することが容易にできます。



1.2.1 サブアカウントで管理可能台数の変更

注意)サブアカウントのトータル台数は、メインアカウントで、管理できる台数以下になります。

1)「Sub accounts」タブを選択し、管理台数を設定するサブアカウントを表示し、鉛筆アイコンをクリックします。

Business Name	Site Contact	Website
<input type="text"/>		--
Site Name	Address	
--	1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohhoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan	

Users Roles **Sub Accounts** Search Account

Name	Total Devices:	Edit
Tsumura_gm...	0 / 1	

2)「Total Allowed Devices」に希望する台数を入力し(例は 5 台)、右上の「Apply」をクリックします。

Edit Sub Account

Delete Cancel **Apply**

Name Account Name *	Contact Person First Name masahiro Last Name tsumura Phone 045-478-2161 Email * masahiro.tsumura85030+sub11@gmail.com	Address Street Address 横浜市港北区 City State Japan Zip/Postal Code 222-0033
-------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

Total Allowed Devices

5 5/23

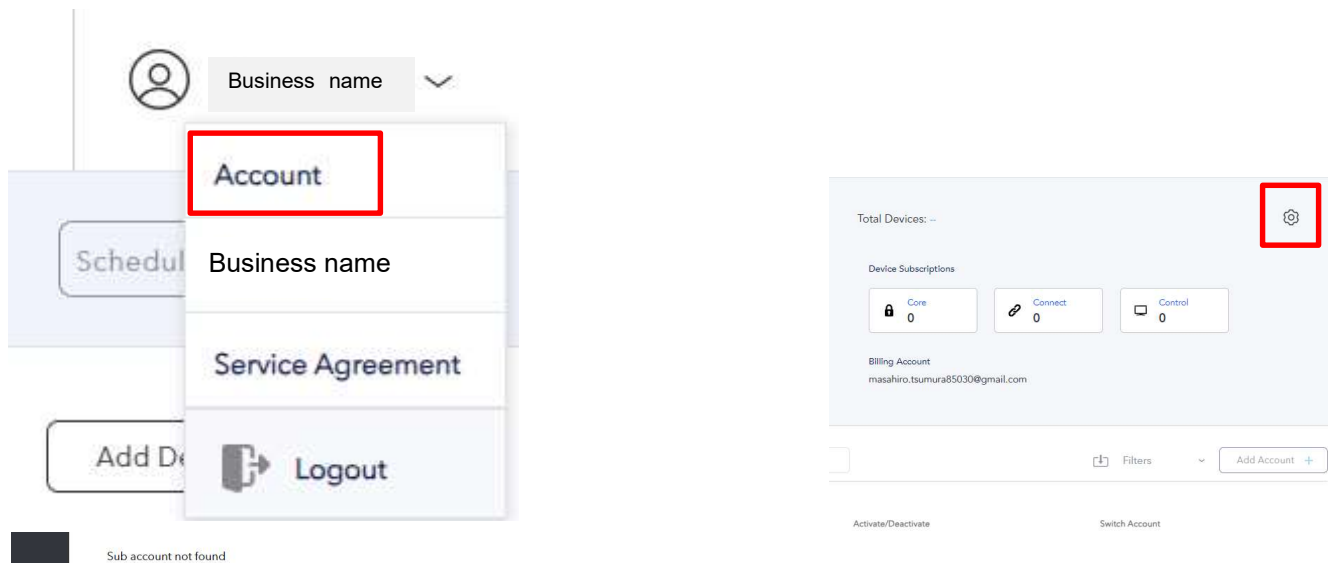
3) 「Total Devices」の右側の値が希望値(例は 5)になっていることを確認して、終了です。


Users Roles **Sub Accounts** Search Account

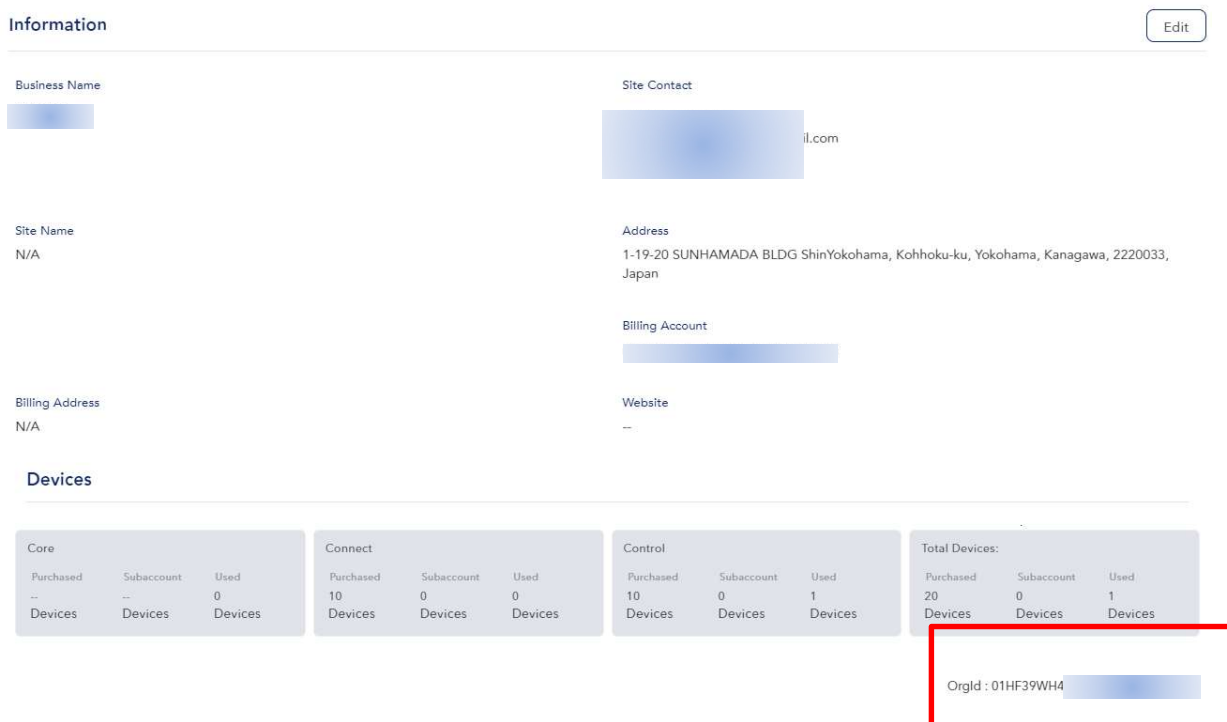
Name	Total Devices: 0 / 5	Edit
------	--------------------------------	------

1.3 OrgID 確認

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。



- 2) 右上に表示されるギアマーク  をクリックし、右下に OrgID が表示されます。



1.4 EloView 開発者向け情報

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームの左のアイコンをクリックします。



- 2) User Profile 画面の左下に Dev Zone を選択すると、SDK など開発者向けの情報が入手できます。

User Profile

First Name	Last Name
<input type="text"/>	<input type="text"/>
Email Address	Phone
<input type="text"/>	<input type="text"/>
Address	MFA Credentials Disabled
<input type="text"/>	

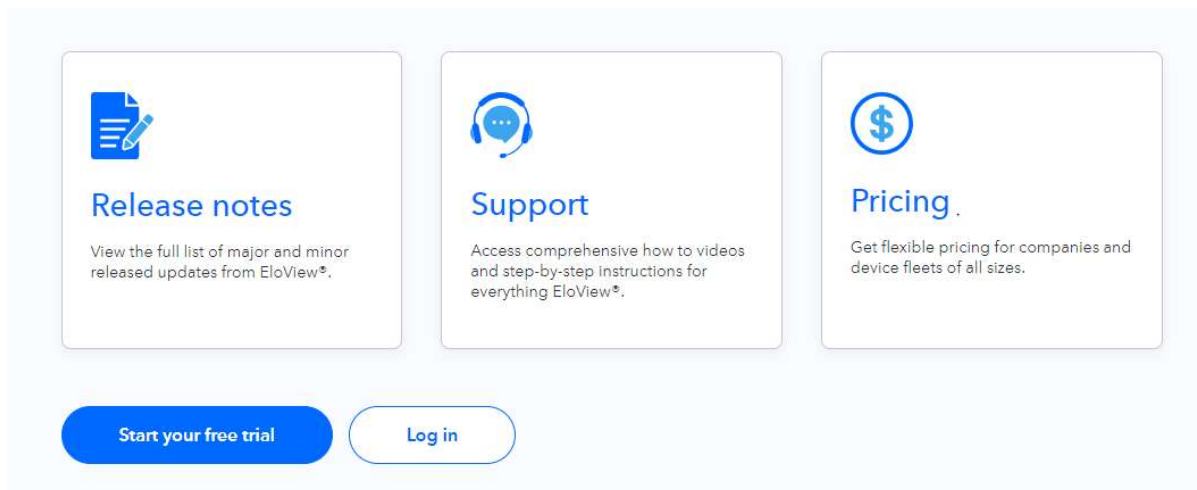
OAuth Credentials Generate OAuth Credentials

OAuth Credentials not yet generated

Dev Zone SDK OTA's API's

1.5 <https://www.elotouch.com/eloview> への掲載情報

- 1) 「Pricing」に関しましては、日本国内用ではございませんので、ご注意ください。



Release notes
View the full list of major and minor released updates from EloView®.

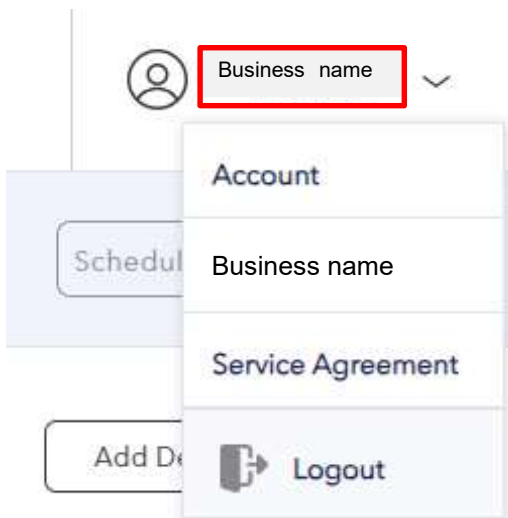
Support
Access comprehensive how to videos and step-by-step instructions for everything EloView®.

Pricing
Get flexible pricing for companies and device fleets of all sizes.

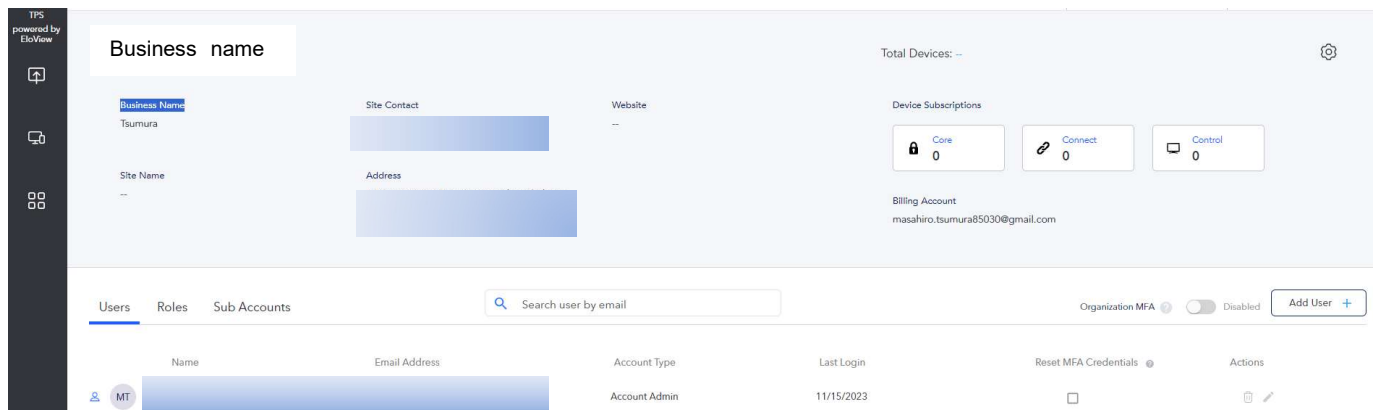
[Start your free trial](#) [Log in](#)

2. アカウント設定(Accounts)

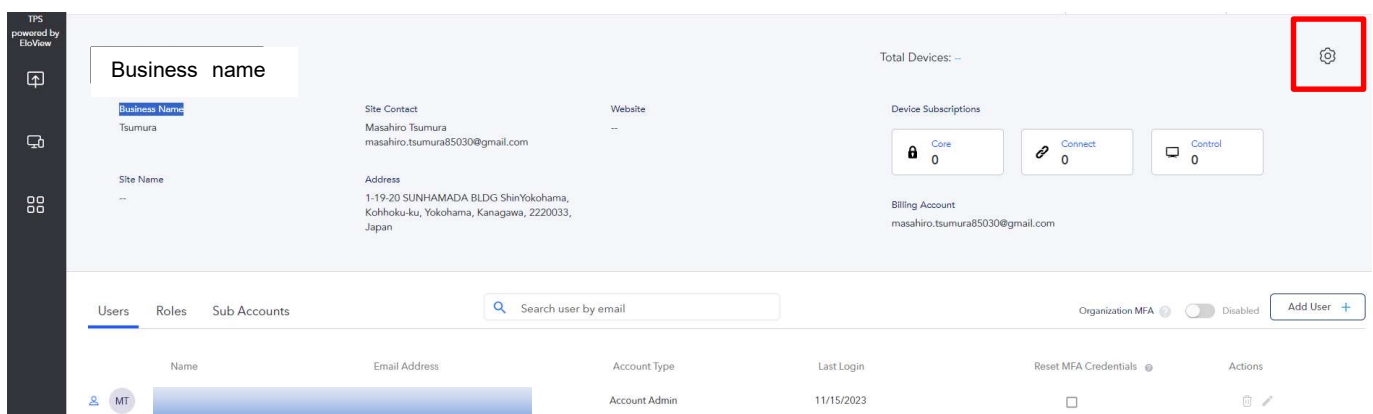
- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、Business name をクリックします。



- 2) 以下のような Account 画面が表示されます。



- 3) Account の詳細情報が表示された画面の右上のギアマークをクリックします。

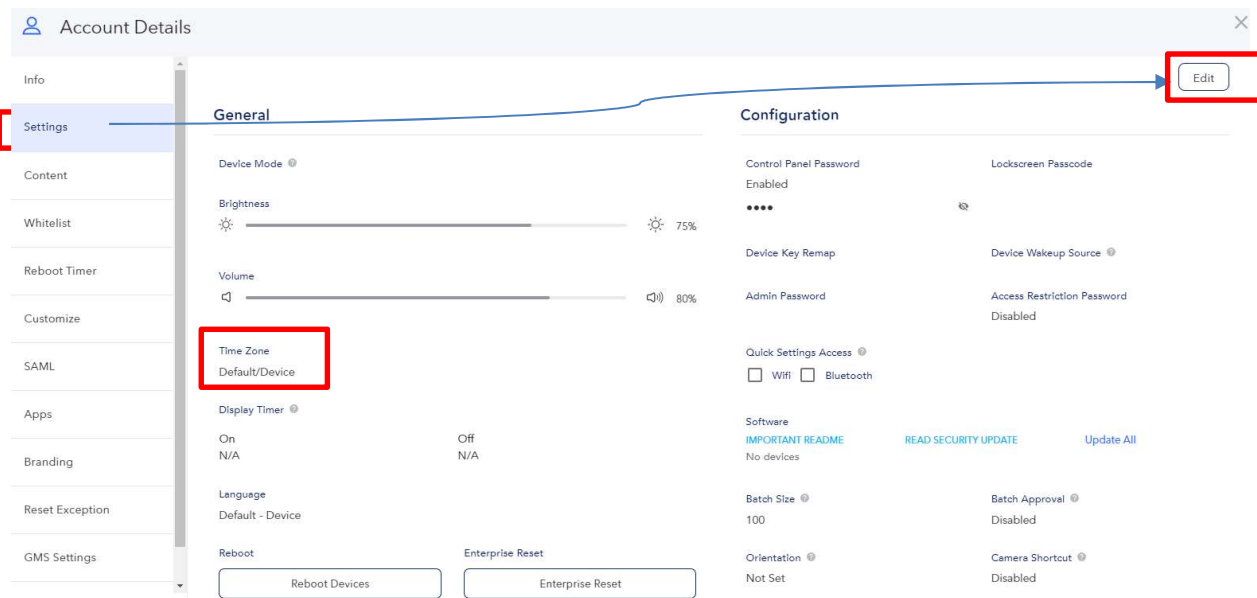


以降はそれぞれの項目を設定して下さい。

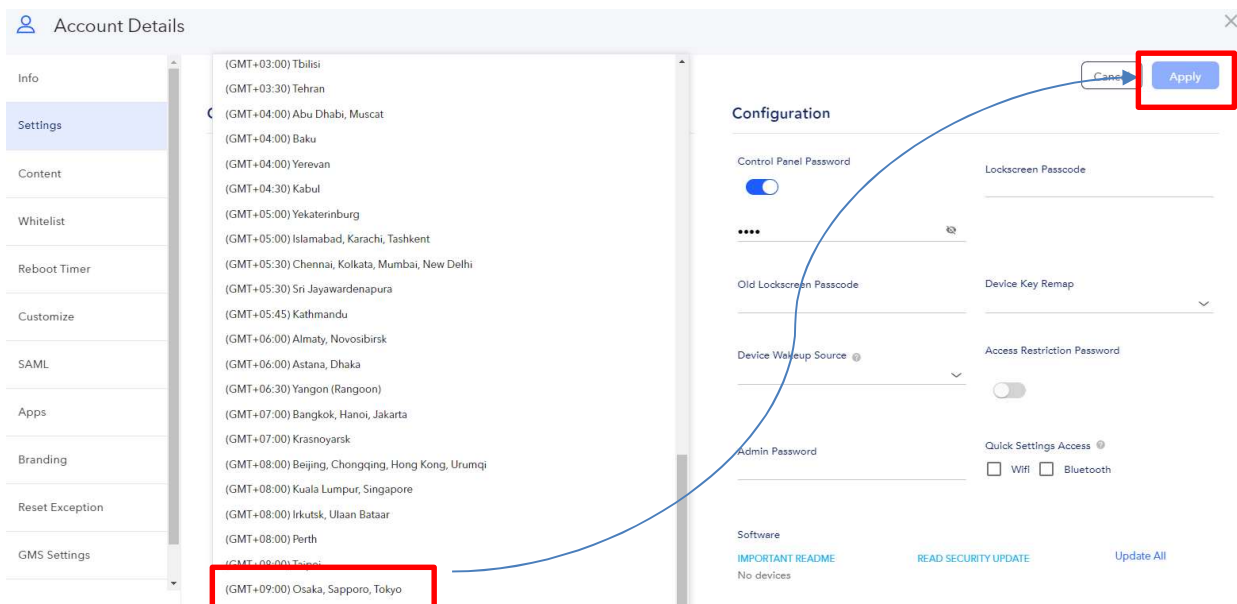
2.1 「Time Zone」の設定

注意)「Time Zone」設定が、「N/A」または「Default/Device」になっている場合、製品の再起動を行った際に、製品の「Time Zone」設定が変更されてしまう場合がありますので、必ず以下のように設定して下さい。

1) 「Account Details」の中の左側に表示される「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして下さい。



2) 「Time Zone」をプルダウンから「(GMT+09:00)Osaka,Sapporo,Tokyo」を設定し、右上の「Apply」をクリックして下さい。Asia/Tokyo と表示されます。



2.2 言語設定(Language)

- 1) 「Account Details」を表示し、「Settings」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
- 2) 表示されるメニュー内の「Language」の下の「Default-Device」をクリックします。

The screenshot displays the settings application with two main sections: 'General' and 'Configuration'. In the 'General' section, the 'Language' option is highlighted with a red rectangular box. Below it, the current language is listed as 'Default - Device'. The 'Configuration' section contains various security and system settings such as 'Control Panel Password', 'Lockscreen Passcode', 'Device Wakeup Source', and 'Admin Password'. At the bottom of the 'Configuration' section, there are links for 'IMPORTANT README', 'READ SECURITY UPDATE', and 'Update All'.

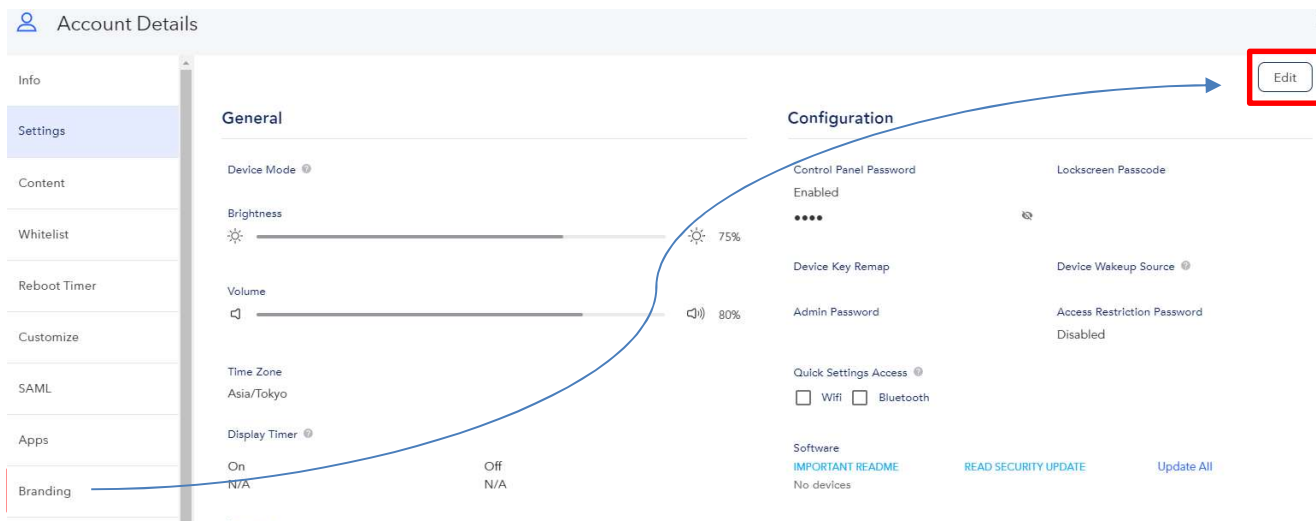
- 3) 各国の言語がプルダウンされますので、「Japanese-日本語」を選択し、右上の「Apply」をクリックします。

This screenshot shows a dropdown menu for language selection. The menu lists several options: 'Default - Device', 'English - English', 'Chinese - 中文', 'French - Français', 'German - Deutsch', 'Italian - Italiano', 'Japanese - 日本語', and 'Spanish - Español'. The 'Japanese - 日本語' option is highlighted with a grey background, indicating it is the selected language.

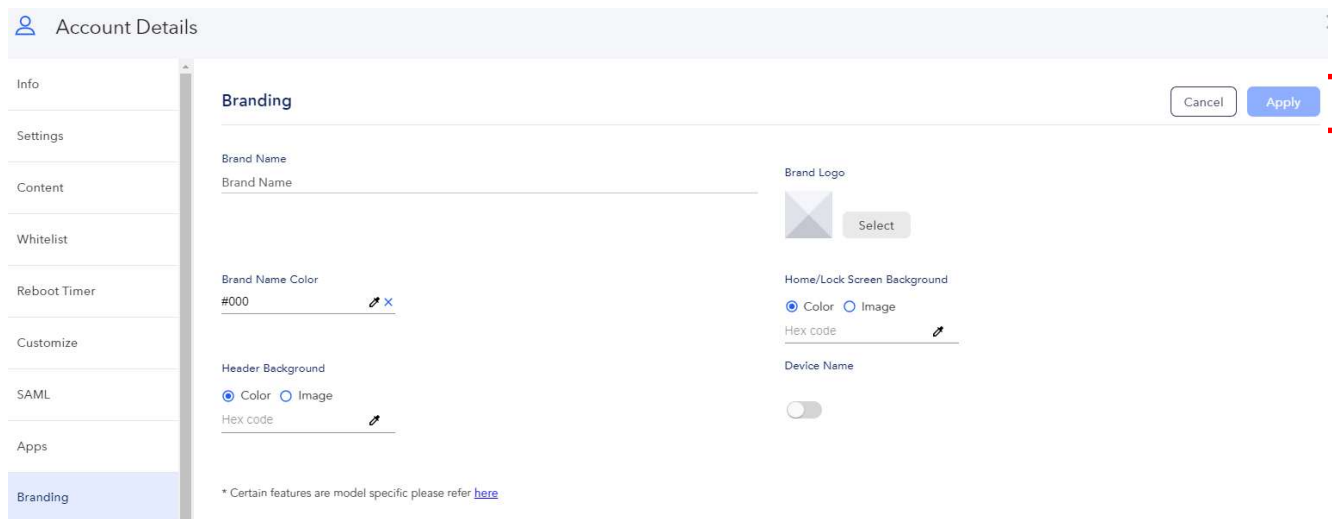
- 4) 「Language」が、「Japanese-日本語」に変更されていることを確認して終了です。

2.3 「Branding」(デバイスの「Elo Home」画面のカスタム化)

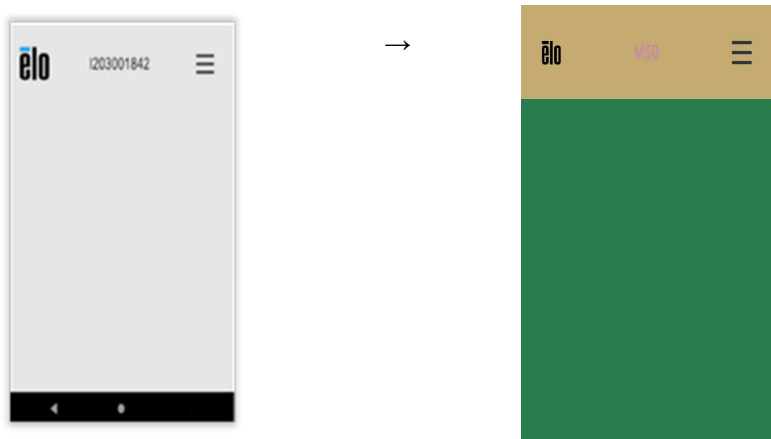
1) 「Account Details」を表示し、「Branding」を選択し、「EDIT」をクリックしてください。



2) 以下のように表示されますので、「Brand name」、「Brand Logo」及び色などを設定し、「Apply」をクリックしてください。

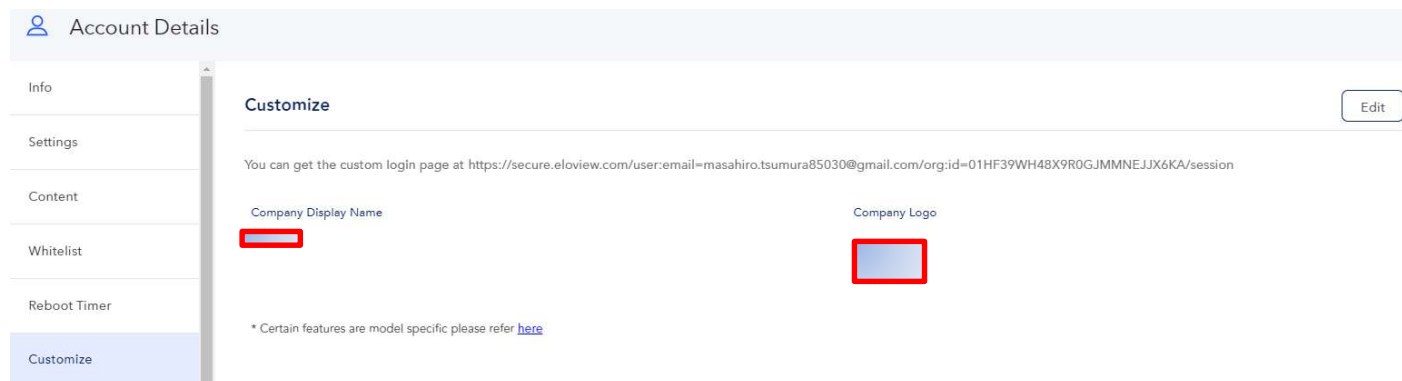


3) デバイスに表示される「Elo Home」の画面構成が変更されます。



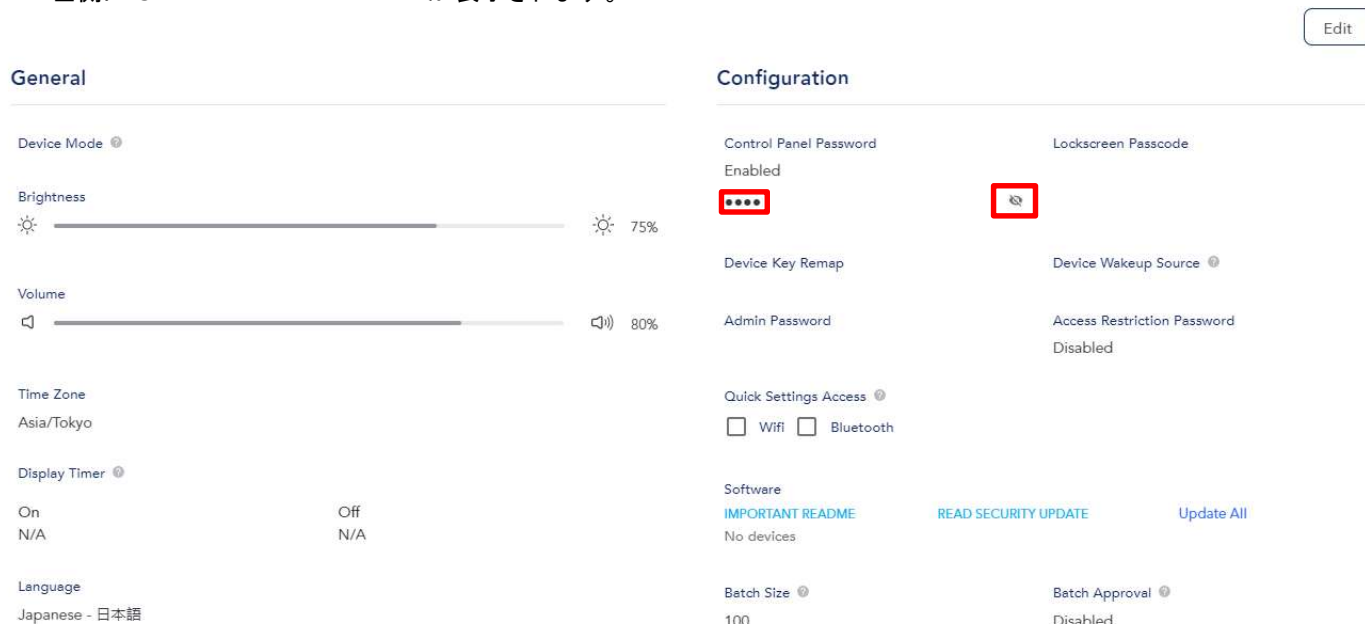
2.4 「Customize」(EloView 画面のカスタム化)

- 1) 「Account Details」を表示し、「Customize」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
- 2) 「Company Display Name」を入力し、「Company Logo」の下の「Select」をクリックし、使用するロゴファイルを選択して、「Apply」をクリックしてください。
- 3) 「Company Display Name」と「Company Logo」が変わっていることを確認して下さい。



2.5 「Control Panel Password」の確認

- 1) 「Account Details」の「Settings」タブ表示内で「EDIT」を選択し、「Configuration」右下のアイコンをクリックすると、その左側に Control Panel Password が表示されます。



2.6 ユーザーインバイト及びデリート

2.6.1 ユーザーインバイト

各種権限を設定したユーザーをインバイトすることが可能です。これにより複数人により、管理することが容易になります。**トラブル防止のため追加するユーザーには事前の登録することをお知らせください。**

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。
- 2) 「Users」タブが選択されると、右側に「Add User+」と表示されますので、クリックします。

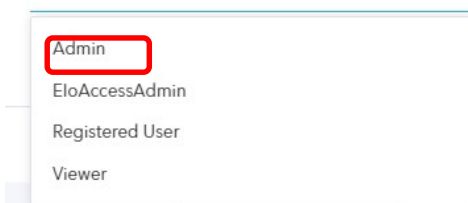


- 3) 「Add New User」の表示がされますので、「First Name」、「Last Name」、「Email Address」を入力し、「Role」の部分をクリックします。

The screenshot shows the 'Add New User' form. At the top, there is a header with a user icon, the text 'Add New User', and 'Cancel' and 'Apply' buttons. Below this is a 'Details' section with four input fields: 'First Name', 'Last Name', 'Email Address', and 'Role'. Each of these fields is highlighted with a red rectangular box. Below the 'Details' section is a 'Permissions' section with a table of permissions.

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Toggle Org level MFA	<input type="checkbox"/>				
Reset MFA	<input type="checkbox"/>				
Devices	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Enterprise Reset	<input type="checkbox"/>				
Device Mode	<input type="checkbox"/>				
Device Groups	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Content	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 4) 「Role」の下にプルダウンメニューで役割が表示されます。例として、Admin をクリックします。



- 5) その結果、以下のように、Permissions 画面が変更されます。
備考)「Admin」ではアカウント管理者とほぼ同等の管理が可能です。

Permissions

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Toggle Org level MFA	<input checked="" type="checkbox"/>				
Reset MFA	<input checked="" type="checkbox"/>				
Devices	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Enterprise Reset	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Mode	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Groups	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Content	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Download	<input checked="" type="checkbox"/>				



以下は「Registered User」の結果で、デバイス管理やコンテンツ登録が可能です。

Permissions

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Toggle Org level MFA	<input type="checkbox"/>				
Reset MFA	<input type="checkbox"/>				
Devices	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Enterprise Reset	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Mode	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Groups	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Content	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Download	<input checked="" type="checkbox"/>				

- 6) 設定する場合は、右上の「Apply」をクリックし、ユーザーが追加されていることを確認します。
以下は「Viewer」で追加した例です。

Users Roles Sub Accounts

Name	Email Address	Account Type	Last Login
 MT	[Redacted]	Account Admin	11/16/2023
 MT	[Redacted]	Viewer	...

- 7) 追加したユーザーに、登録が完了したことをお知らせし、以下の手順でログインができることを確認してもらえよう依頼してください。
- a) 登録された Email Address に、「temporary password」を含むメールが届きますので、「Click here」をクリックして申請を開始します。



EloView - Invitation

You have been invited to join the EloView family

Your username is **Email address** and temporary password is

temporary password

[Click here](#) to continue to login

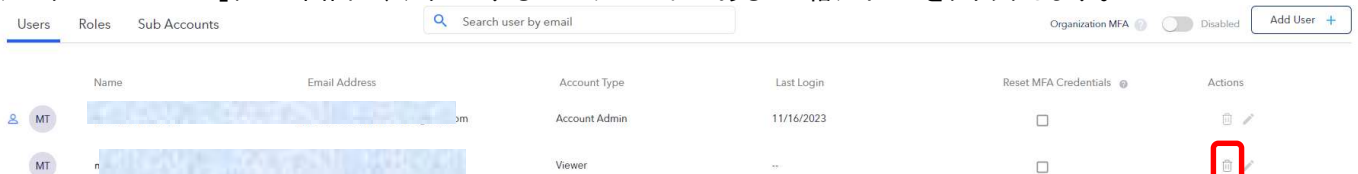
Need some help? Our [online support portal](#) is loaded with EloView knowledge base articles. If you need a human, the EloView team can be reached at (844) 435-6832 or Support@EloView.com

- b) 「temporary password」でログインします。
- c) 「Reset Password」を実行し、新しいパスワードを設定します。
パスワードの長さは、大文字のアルファベット、数字、記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。
一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。
二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。
三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。
パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。(「|」は、含みません)
「123456789012|」、「ABCDEFGHIJKL|」(使用している文字の種類は、1種類ですが、12 文字以上の場合は、使用可能です。)
「12345ABCDE|」(使用している文字の種類が、2 種類なので、10 文字以上の場合は、使用可能です。)
「123ABC#%|」(使用している文字の種類が、3 種類なので、8 文字以上の場合は、使用可能です。)
- d) 再度、新しいパスワードでログインし、正しく EloView のデバイス表示画面が表示されることを確認して終了です。

2.6.2 ユーザーデリート

設定したユーザーをデリートすることができます。

- 1) アカウトの「Users」タブの画面で、デリートするユーザーの右にあるゴミ箱アイコンをクリックします。



- 2) 以下のデリートの確認画面が表示されたら、「Confirm」をクリックし、デリートが成功したメッセージが表示されます。

×

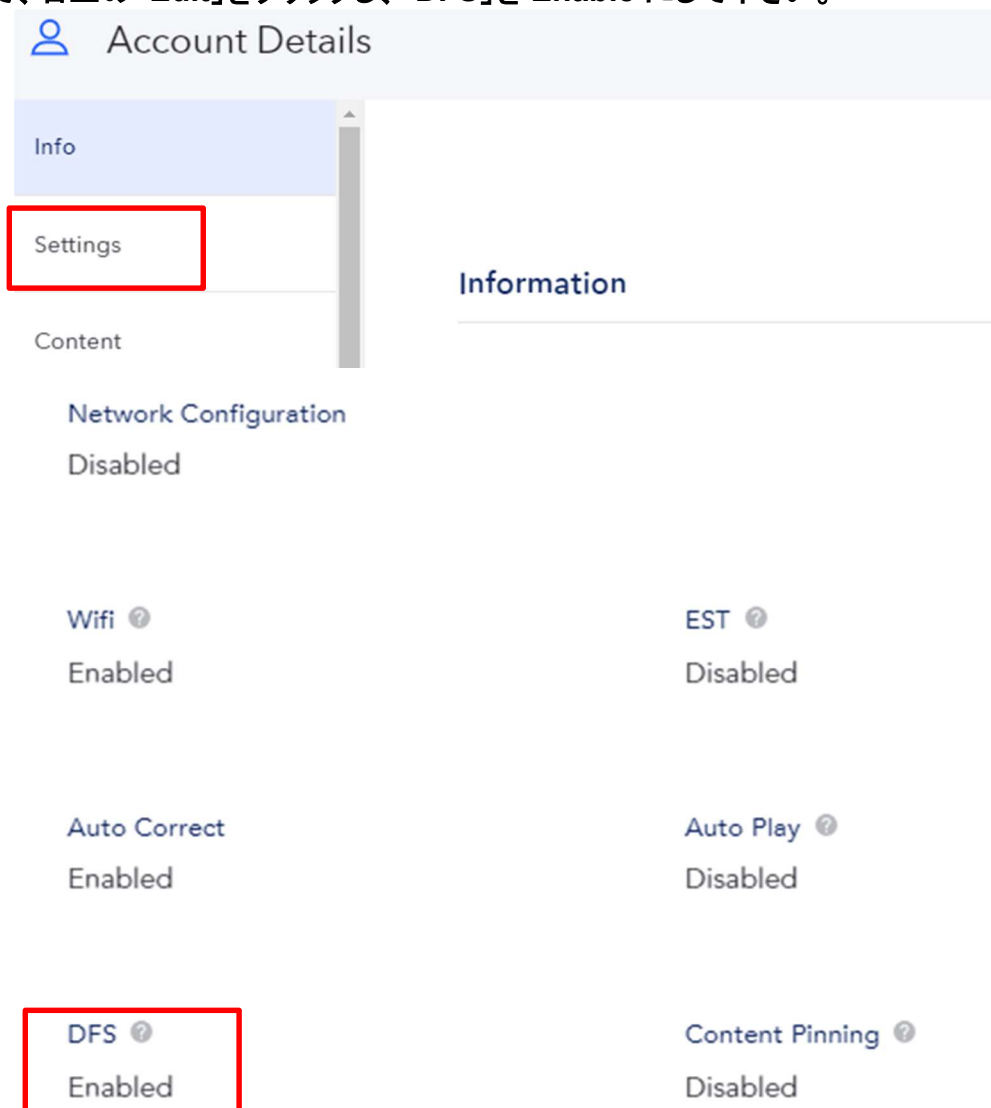
Are you sure you want to delete the user?



- 3) 指定したユーザーがデリートされていることを確認して終了です。

2.7 WiFi 設定(DFS 設定)


注意)5GHz で使用する場合は、DFS 設定が Enable である必要があります。
5GHz で使用する可能性がある場合は、以下のように「Account Details」を表示し、「Settings」を選択して、右上の「Edit」をクリックし、「DFS」を Enable にして下さい。

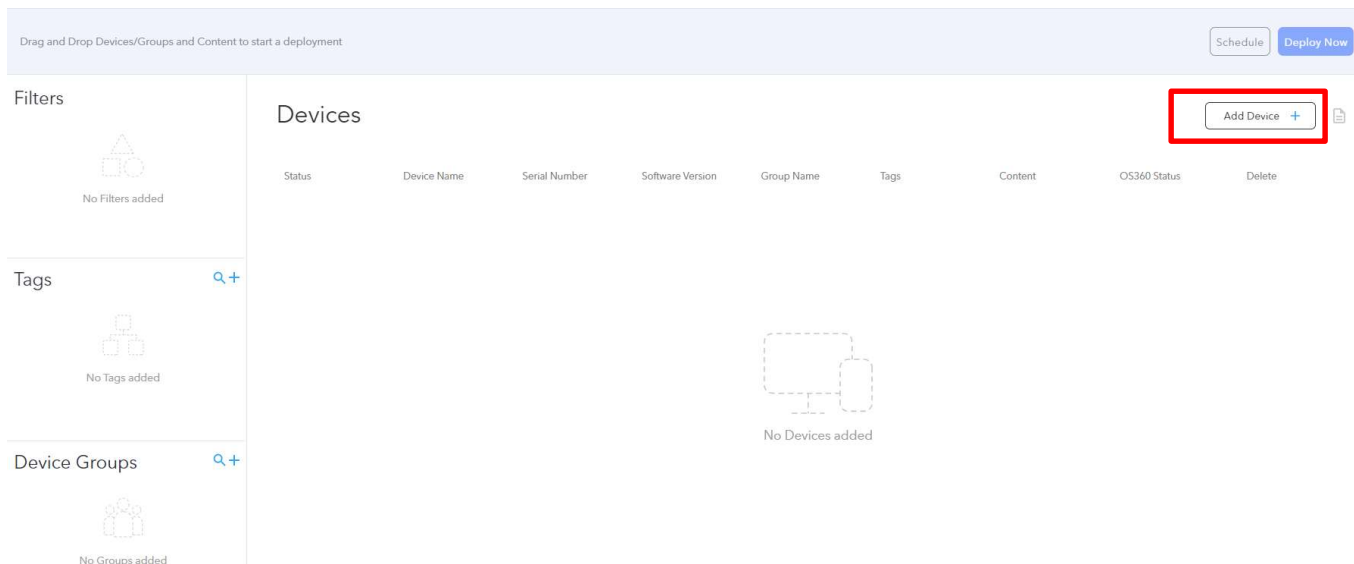


3. デバイス関係(Devices)

3.1 デバイス登録

注意)オフライン状態で設定した場合、後でネットワークに接続しても、EV4 のサーバーに接続できない場合があります。

- 1) 画面左側の「Devices」アイコン  をクリックする。
- 2) 以下のように表示されている状態で「Add Device+」をクリックする。
備考)図は既にデバイスが全く登録されていない場合です。




- 3) 「Device Name」 と 「Serial Number」 を入力した後、右下の「Save」をクリックする。
備考)「Serial Number」は ESY i シリーズ, Android Box コンピュータ Backpack(ESY00i1) などの Android 製品の場
合、最初の 1 文字目が A-L のアルファベット、2-3 文字目が数字となる 10 桁のシリアル番号のことです。

 Add Devices

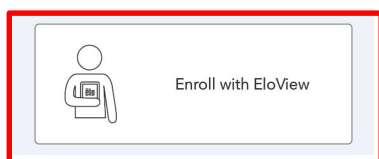
Device Name	Serial Number	Device Mode
<input type="text"/>	<input type="text"/>	Control
Device Name	Serial Number	Device Mode
<input type="text"/>	<input type="text"/>	Control

- 4) アイコンは黒のまま、デバイスが登録されたことを確認します。

1 Device

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	NA	TPS	NA		NA	

- 5) 通電及び、有線 LAN 接続あるいはデバイスで WiFi 設定し、デバイスをオンライン可能な状態にする。
- 6) デバイスに表示される Enroll with Eloview のアイコンをタップする。



- 7) 色に変わっていることを確認して終了です。(数分待つ必要があります。)

1 Device

<input type="checkbox"/> Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	NA	TPS	NA		NA	

備考) デバイスは同一 Group に登録して管理することも可能です。詳細は 3.6 項などを参照して下さい。

3.1.1 csv ファイルを使用しての一括登録

1) 「Devices」アイコンをクリックして、左下に表示されることを確認する。

 Download Template

 Import Device List

- 2) まず、「Download Template」をクリックして、テンプレートの AddDeviceTemplate.csv ファイルを作成し、読み込みます。
- 3) テンプレートファイルに、登録するデバイスの、Device Mode, Device Name, Serial Number, Firmware Version, Address, City, State, Postal Code, Country, Tags, Site Name, Time Zone, Group などの情報を追記します。

注意) Device Mode(“Control”), Device Name, Serial Number は必須です。

4) 「Import Device List」のアイコンをクリックし、上記で作成したファイルを読み込みます。

以下は「TPS」というグループ名で、Time Zone を GMT+09:00 に設定した 1 台を登録した csv ファイルの例です。

*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Addr	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075									Asia/Tokyo	TPS

5) 次に右下の「Save」をクリックします。



 Download Template  Import Device List

備考) エラーメッセージが表示された場合は、ファイルを修正して、実行して下さい。

6) 「Devices」アイコンをクリックすると TPS というグループに、1 台登録されたことが確認できます。

1 Device



<input type="checkbox"/> Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	NA	TPS	NA		NA	

7) 以降は 3.1 の 5)~7) で個別登録した方法と同様にオンライン状態に設定して、終了です。

3.2 デバイス削除

1) 「Devices」アイコンをクリックし、表示された登録済デバイスのリストから、削除するデバイスを確認する。

1 Device

Add Device + 

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

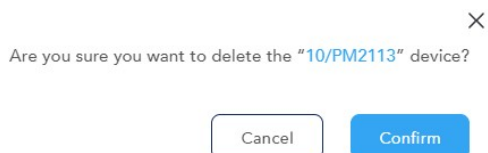
2) 削除するデバイス右端のゴミ箱アイコンをクリックする。

1 Device

Add Device + 

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

3) デバイス削除の確認メッセージが表示されるので、「Confirm」ボタンをクリックします。

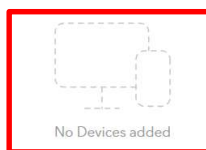


4) デバイスの削除処理が終了すると、削除したデバイスがリスト表示から消えます。サブアカウントで使用していない場合は、終了です。

Devices

 Add Device + 

Status Device Name Serial Number Software Version Group Name Tags Content OS360 Status Delete



5) サブアカウントで使用していた場合は、親アカウントに移動して、削除するデバイスの表示が残ってる場合、上記1)から4)を繰り返して、デバイスリスト表示から消えることを確認して、終了です。

3.3 「Settings」

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Settings」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リポート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。

「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。

主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行ってください。

但し、オンライン(アイコン色が緑)の状態では、実行できません。

1) Device リスト画面

1 Device

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	■	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TP5	NA		NA	

2)各デバイスの Device Details 画面

Device Details

Device Name	Serial Number	Software Version	Site Address
10/PM2113	C213A40075	NA	JP

Info

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Activity

Contents On Device

Device

Device Name: 10/PM2113, Group Name: TPS

Serial Number: C213A40075, Device Model: --

Device Model Descriptor: --

Last Reboot: --, Last Online: Never

Last Firmware Update: --

Site Address

Site Name: NA, Site Contact: Masahiro Tsumura, masahiro.tsumura85030@gmail.com, 045-478-2161

Address: 1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohhoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan

Time Zone: Asia/Tokyo, GPS Co-ordinate: 0,0

Edit

3)Settings タブ選択画面

Device Details

Device Name	Serial Number	Software Version
Backpack EV4	L211A80316	5.000.032.0071+p

Reboot Device, Enterprise Reset, Edit

Info

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Activity

Contents On Device

Apps

Reset Exception

Peripheral Configuration

General

Device Mode: Control

Brightness: 85%

Volume: 50%

Display Timer: On, Off, N/A

Language: English - English

Interface

Configuration

Control Panel Password: Disabled, Lockscreen Passcode

Admin Password, Screen Density: 240 HDPI (1.5x)

Quick Settings Access: Wifi, Bluetooth

Orientation: Not Set, Camera Shortcut: Disabled

Auto Accept NFC and Camera Usage: Disabled, Microphone: Enabled

Inbuilt Barcode Scanner: Disabled, NTP URL: NA

3.3.1 「Brightness」、「Volume」

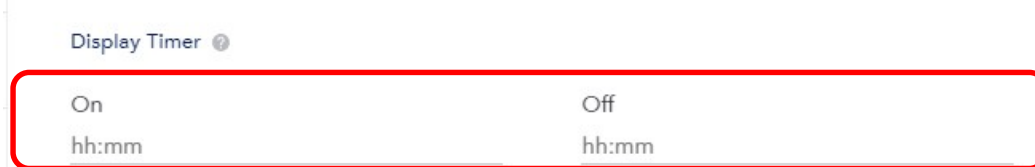
1) 輝度や音量を調整する場合は、○カーソルをスライドして設定して、右上の「Apply」をクリックして下さい。



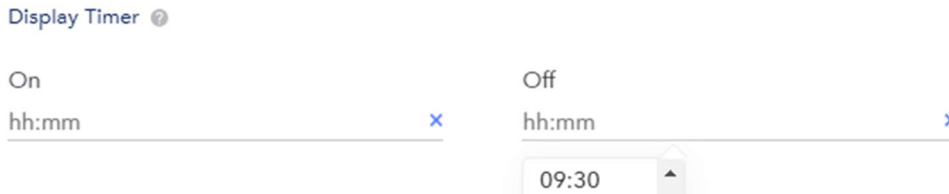
3.3.2 「Display Timer」

ディスプレイタイマーが設定されている場合、Off 時間内は、画面を触りますと登録されているアプリが表示されますが、1 分後に画面が消えますので注意して下さい。

1) 「Display Timer」の ON と OFF 時間を設定し(hh:mm AM/PM で設定)、右上の「Apply」をクリックして下さい。



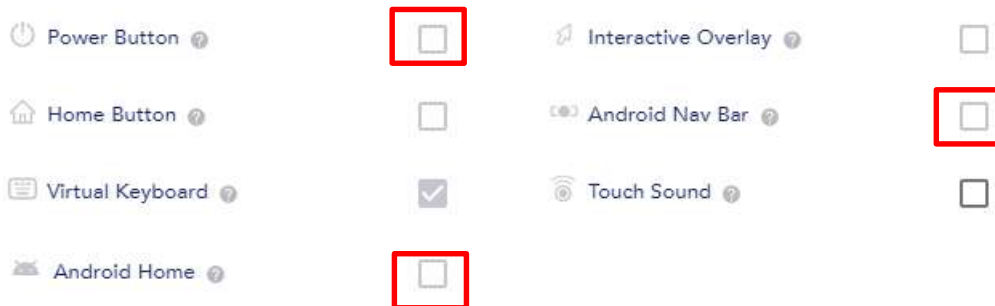
備考)設定を解除する場合は、時間設定を削除し、hh:mm の状態で「Apply」してください。



3.3.3 ナビゲーションバー表示や Power button の有効/無効選択等の設定

1) Interface の項目(「Android Home」、「Android Nav Bar」や「Power button」)のうち、有効にする内容の右側のボタンをチェックして、右上の、「Apply」をクリックしてください。

Interface

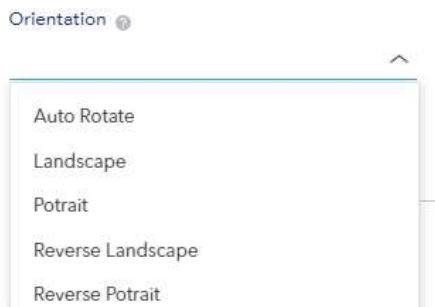


3.3.4 「Orientation」

表示画面の方向を設定できます。

注意)Box PC(Backpack) の場合は、デバイス内の設定で設定する必要がありますので、デバイスのユーザーガイドを参照して「Screen Orientation (画面の向き)」と「External Screen Orientation」で設定して下さい。

1) Orientation の項目のうち、設定する方向を選択して、右上の、「Apply」をクリックして下さい。



3.3.5 WiFi 設定

デバイスに直接書き込む以外に、デバイスがオンライン状態であれば、EloView 経由で以下の、Name, ssid_security_type, ssid_password などのような WiFi の設定を行うことが可能です。(ssid_priority を記載し、複数設定可能、WiFi 最大 5 と LAN 1)

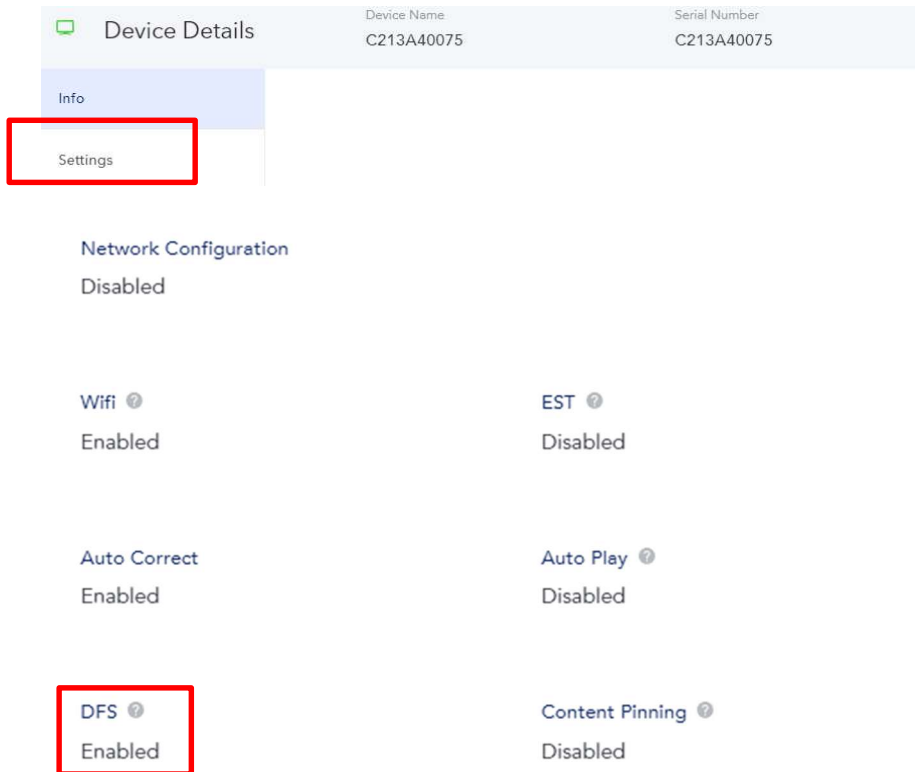
「networkConfiguration.csv」ファイル例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	active	network_type	name	ssid_security_type	ssid_password	static_ip	gateway	network_prefix	dns1	dns2	ssid_proxy_host
2		wifi	disabled_open_wifi_network_notification								
3	yes	wifi	nw_with_open_ssid								
4	yes	wifi	wep_wifi_wep	password							
5	yes	wifi	nw_with_wpa	password							
6	yes	wifi	nw_with_wpa	password	192.168.3.1	192.168.3.1		24	192.168.3.1	192.168.3.1	

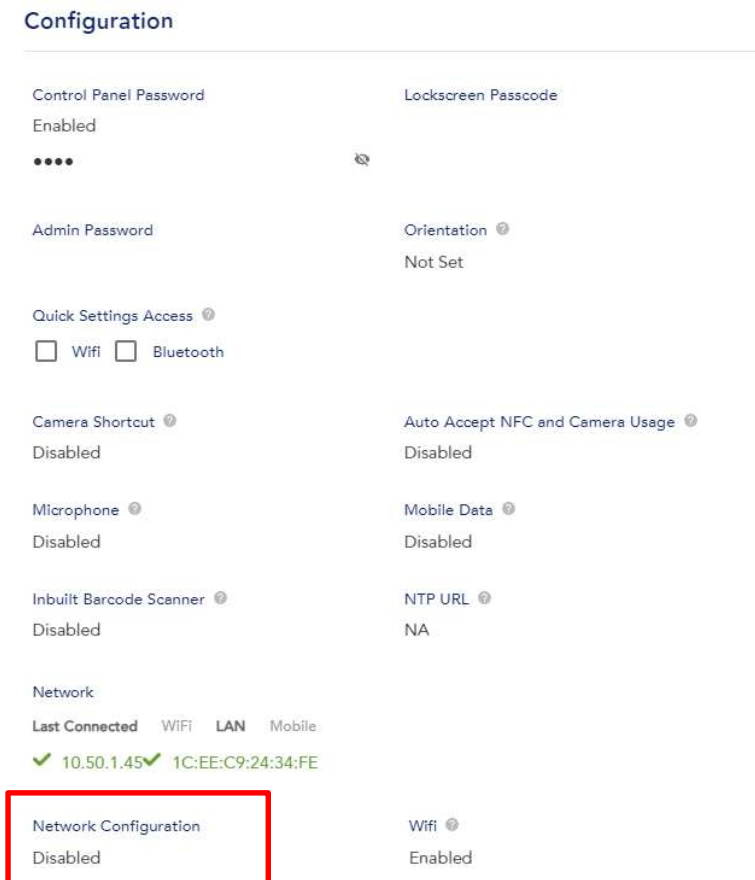
項目	選択肢	記載内容あるいは備考
active	yes/no	
network_type	wifi/lan	
name		ネットワーク名
ssid_security_type	wep/wpa	
ssid_password		SSID パスワード
static_ip		Static IP
gateway		Gateway IP
network_prefix	24/25	Subnet Mask 24:255.255.255.0/25:255.255.255.128
dns1		Primary DNS server address
dns2		Secondary DNS server address
ssid_proxy_host		Server IP address
ssid_proxy_port		proxy server/default 8080
ssid_priority	1~6	Priority(数字が小さいほうが優先)
disable_open_network_notification	yes/no	ネットワークオープン時の Notice 有無
proxy_exclusion_list		proxy 使用時の除外リスト
avoid_poor_wifi_connection	yes/no	poor wifi network 接続

備考)WiFi 設定が完了していても、LAN 接続されている場合は、LAN 接続が優先されます。

- 1) まず、5GHz の WiFi で使用する場合は、「DFS」の設定が「Enable」になっていることを確認してください。アカウント全体の設定の場合は、2.7 を参照してください。個別のデバイスで対応する場合は「Device Details」を表示し、「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして、「DFS」を Enable にして下さい。



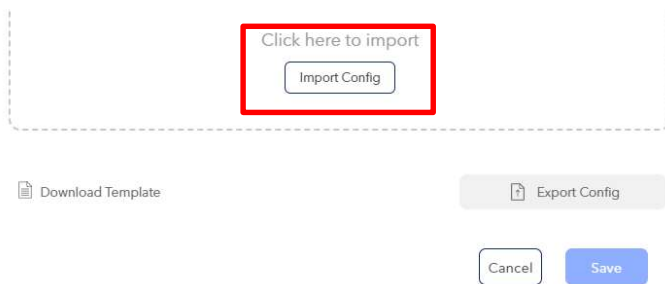
- 2) 次に、「Configuration」内の Network Configuration を「Enable」にすると WiFi の設定ができます。まずは、右上の「Edit」をクリックします。



- 3) 「Network Configuration」を、Enable するために、クリックします。



- 4) 以下のように表示されますので、「Import Config」をクリックし、csv ファイル選択し、読み込む。



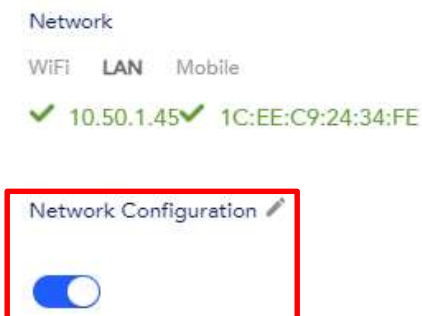
備考)「Download Template 」をクリックするとテンプレートファイルがダウンロードされます。

「Export Config」をクリックすると設定済みの情報がダウンロードされます。

- 5) 「Uploaded Successfully」にチェックが入っていることを確認し、右下の「Save」をクリックします。



- 6) 「Network Configuration」が「Enable」になっていることを確認して、終了。



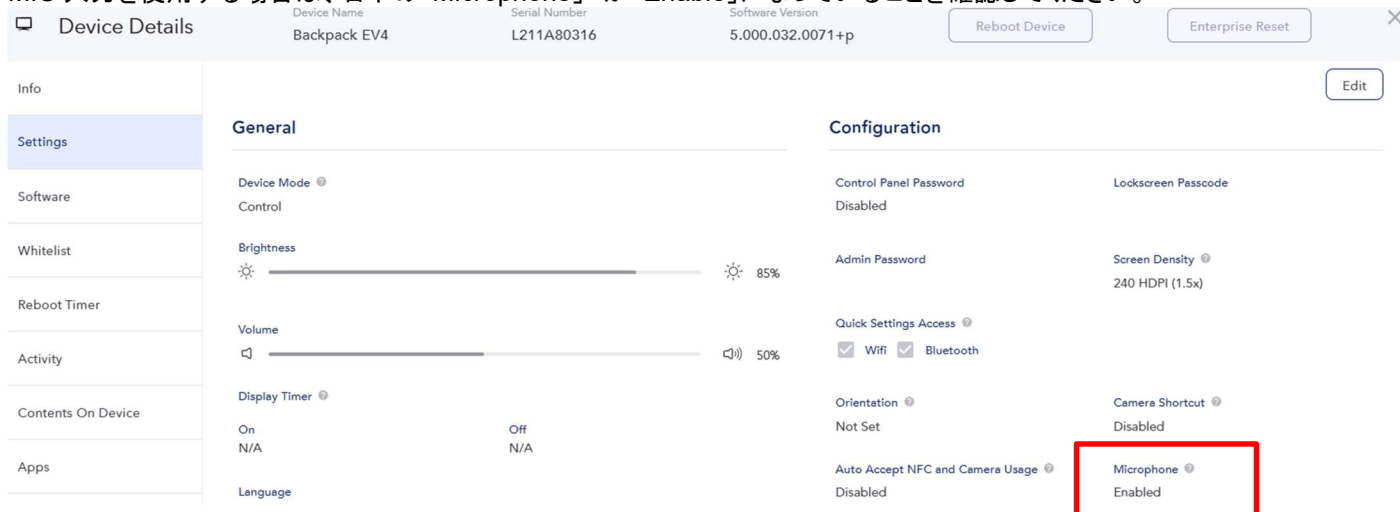
3.3.6 Reboot 手動実行

右上の「Reboot Device」をクリックすると、リブートの確認画面が表示されます。「Yes」をクリックするとデバイスはリブートされます。



3.3.7 MIC 有効化設定

MIC 入力を使用する場合は、右下の「Microphone」が「Enable」になっていることを確認してください。



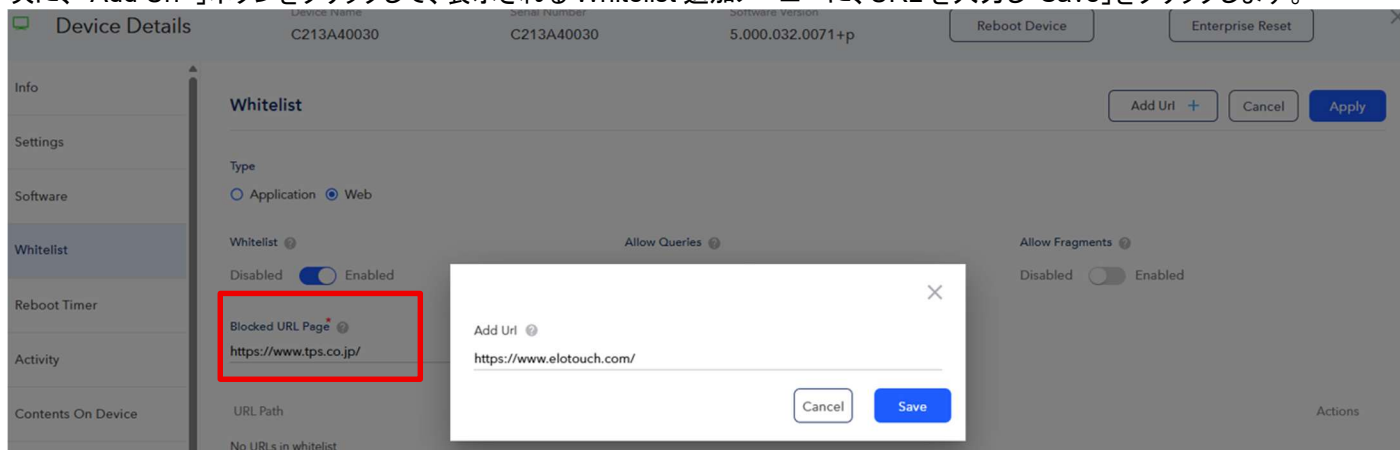
3.3.8 Whitelist 設定

Web アプリなどで、アクセスさせたくないサイトがある場合は、アクセス可能な url を Whitelist に追加することで対応可能です。

Whitelist タブで「Edit」をクリックし、Whitelist ボタンを「Enable」にします。

次に Blocked URL Page に表示させているサイトを入力します。

次に、「Add Url+」ボタンをクリックして、表示される Whitelist 追加メニューに、URL を入力し「Save」をクリックします。



最後に、右上の「Apply」ボタンをクリックして終了です。

3.3.9 表示画面の確認(スクリーンショット)

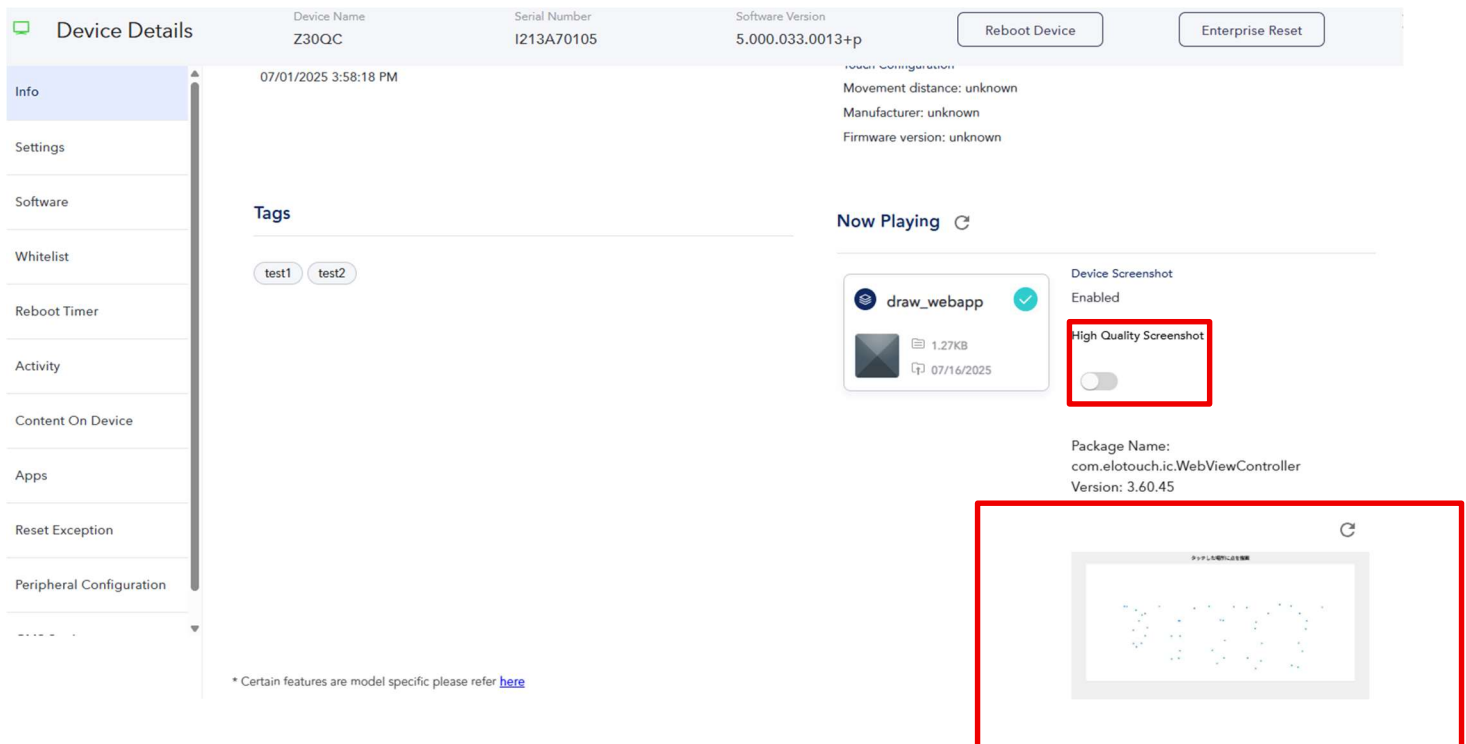
デバイスに表示されている内容は、「Device Details」の「info」タブ内の「Now Playing」の下に表示されます。

「High Quality Screenshot」に設定すると高解像度で、表示されます。

その画像を保存して、スクリーンショットとしてご利用ください。

但し、この画面表示は、定期的に更新されますので、動的なコンテンツの場合、注意してください。

更に、表示画面部をクリックすると、デバイスをタッチした事と同じ状況になりますので、注意して下さい。



The screenshot shows the 'Device Details' interface for a device named 'Z30QC'. The 'Info' tab is active, displaying the 'Now Playing' section. A red box highlights the 'High Quality Screenshot' toggle switch, which is currently turned off. Another red box highlights the screenshot preview area below it, which shows a blurry image of the device's screen.

3.4 OS のアップデート

EloView により、新しいバージョンを選択してアップデートすることが可能です。

以下の手順を参照して下さい。

注意) EloView では古いバージョンに戻すことはできません。

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Software」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リポート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。



「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。

主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行ってください。

但し、オンライン(アイコン色が緑)の状態でしか、実行できません。

1) Device リスト画面を表示し、「Device Name」等をクリックします。

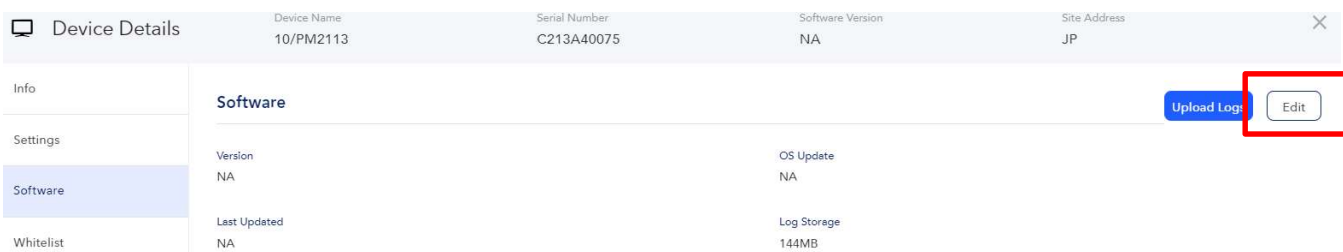
1 Device

	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

- 2) 各デバイスの Device Details 画面を表示し、「Software」タブを選択します。

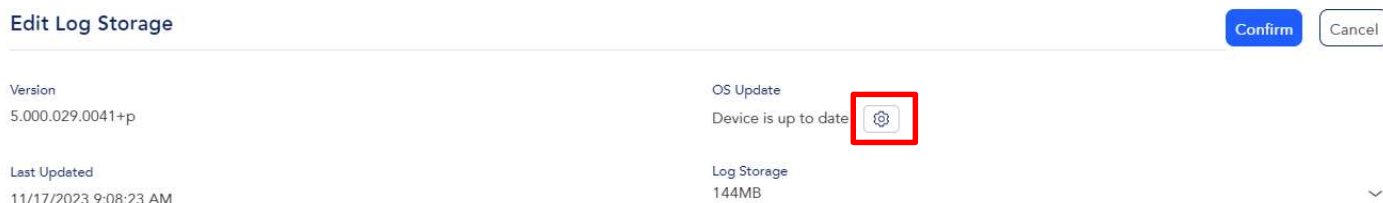


- 3) Software 画面右上の「Edit」をクリックします。

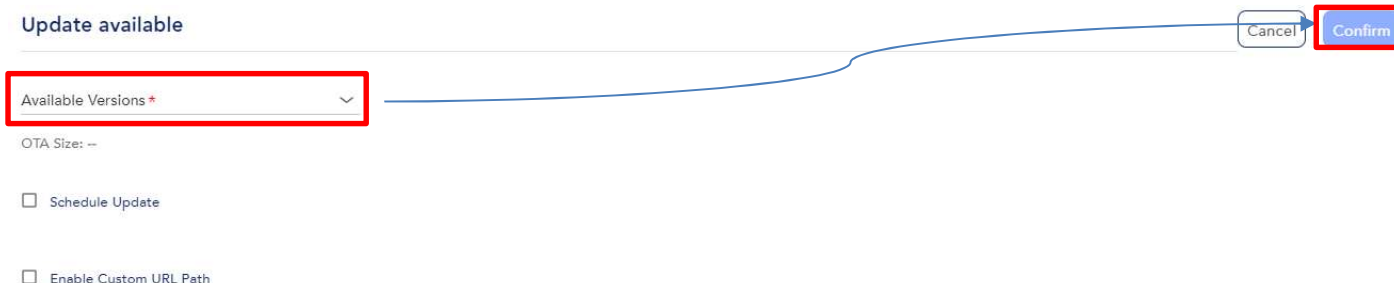


- 4) OS アップデート画面が表示されます。

以下は最新版の例「Device is up to date」ですが、アップデート可能な場合は、「Update Available」などのように表示されますので、「OS Update」右のギアマークをクリックして下さい



- 5) 「Update available」下のプルダウンから、アップデートするバージョンを選択して、右上の「Confirm」をクリックして下さい。



備考)「Schedule Update」を選択し、アップデートをスケジュールすることもできます。

- 6) 確認のメニューが表示されますので、「Yes」をクリックする。
7) 「Downloading」が始まることを確認してください。
8) ダウンロードが完了すると、自動的にデバイスが再起動されます。
9) 最後に選択したバージョンであることを確認して、完了です。

3.5 Reboot Timer

以下は、個別デバイスに設定する手順です。

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Reboot Timer」タブを選択すると、定期的にリポートを実行する時間を設定することができます。

1) Device リスト画面

1 Device

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

2) 各デバイスの Device Details 画面

Device Details

Device Name	Serial Number	Software Version	Site Address
10/PM2113	C213A40075	NA	JP

Info

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Device

Device Name: 10/PM2113

Group Name: TPS

Serial Number: C213A40075

Device Model: --

Device Model Descriptor: --

Site Address

Site Name: NA

Site Contact: Masahiro Tsumura
masahiro.tsumura85030@gmail.com
045-478-2161

Address: 1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohhoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan

Edit

3) Reboot Timer タブ選択画面

右上の「Edit」をクリックします。

Device Details

Device Name	Serial Number	Software Version	Site Address
1511a12	G213A50737	6.000.014.0014+p	JP

Info

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Activity

Reboot Timer

Reboot: Enabled

Edit

4) Reboot Timer 設定画面

a) 右側の鉛筆アイコンをクリックします。

Reboot Timer

Reboot: Disabled Enabled

Watchdog Timer #1 reboots every Day at 11:50 AM after network disruption of 2min

Reboot timer works for PayPoint Plus for Android and PayPoint for Android Rev B, Watchdog timer works for I-Series and PayPoint for Android

* Certain features are model specific please refer [here](#)

Edit

b) 以下のように表示されますので、「After network disruption」のチェックマークを外します。

Reboot Timer's Name: Watchdog Timer #1

Reboots every: Day

At: 11:50 AM

After network disruption of 2 Minute

Reset data before reboot

c) リブート頻度及び時間を設定し、右下の「Save」をクリックします。

Reboot Timer's Name: Watchdog Timer #1

Reboots every: Day

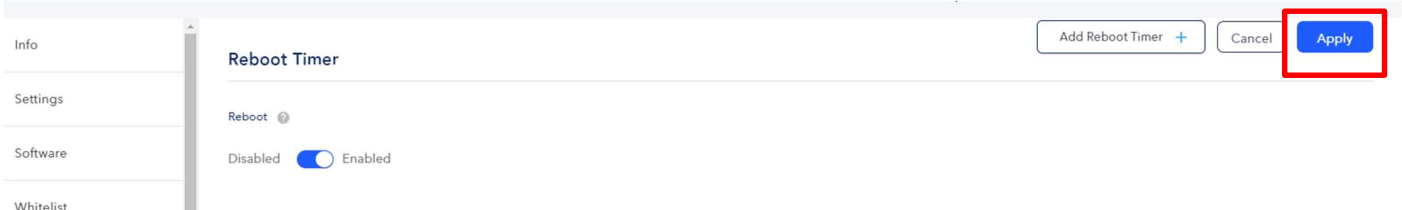
At: 09:30 AM

After network disruption of

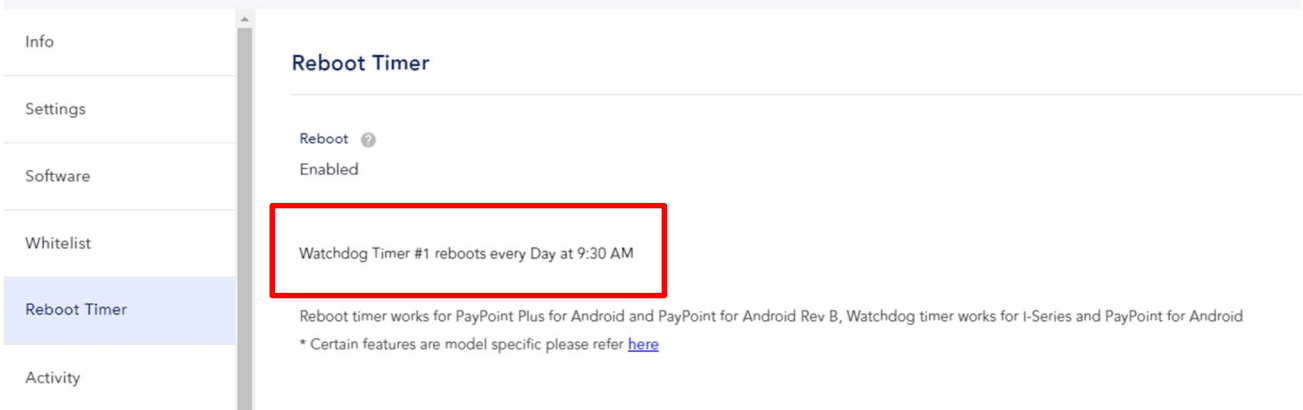
Reset data before reboot

Cancel Save

d) 右上の「Apply」をクリックします。



e) 以下のように正しく設定されていることを確認後、終了です。



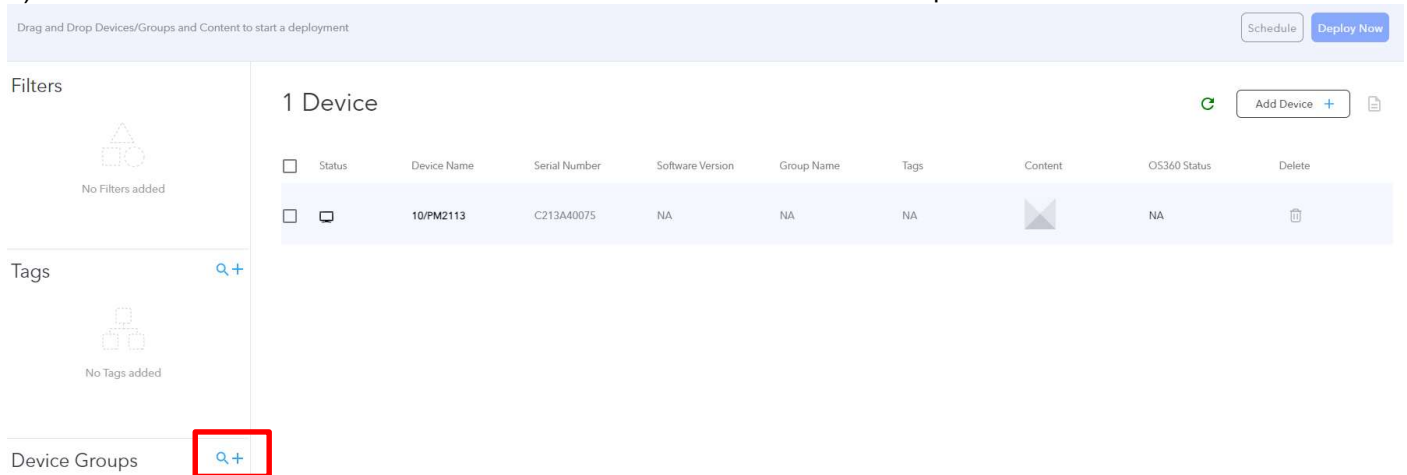
3.6 グループ管理/フィルター管理/タグ管理

3.6.1 グループ登録

注意)同一グループで管理する場合、デバイス数は 15,000 台以下にする必要があります。

備考)グループ登録は 3.3.1 の csv ファイルを用いた手順でも可能です。

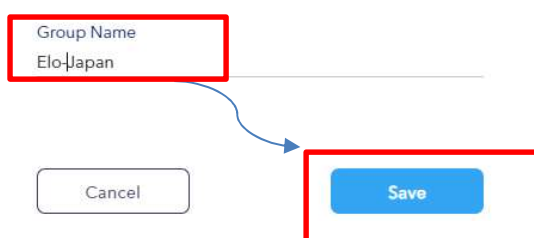
1) 「Devices」アイコンをクリックして、デバイスリスト画面を表示し、「Device Group」右の「+」アイコンをクリックする。



2) 「Create New Group」の設定画面が表示されるので、英数字及び記号でグループ名を入力し、右下の「Save」をクリックします。

例は Elo-Japan

Create New Group



- 3) 「Device Groups」に、設定したグループ名が追加されたことを確認する。例は Elo -Japan



- 4) このグループに登録するデバイスを選択し、「Elo-Japan」のグループアイコンまでドラッグ&ドロップする。

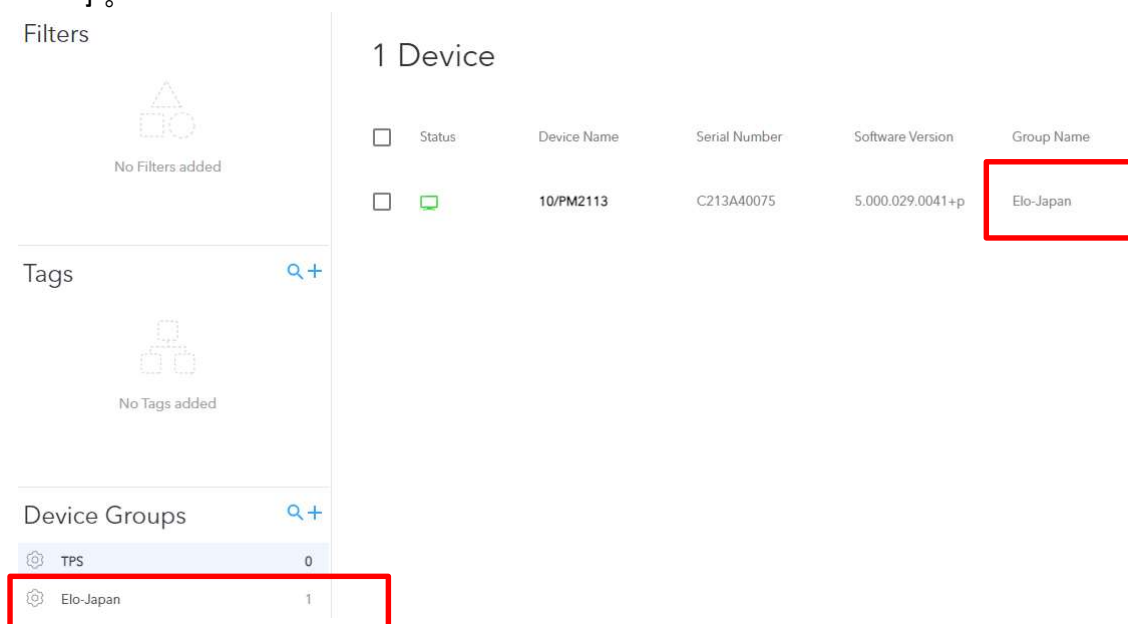


- 5) 以下のように確認のメッセージが表示されるので、「Yes」をクリックする。

The group attributes will override Inheritable attributes of device and it may reboot your device(s). Are you sure you want to Add the device to the group?



- 6) デバイスアイコンや「Device Groups」をクリックし、リフレッシュ後、グループに登録したと登録されていることを確認し、終了。



3.6.2 Gr 管理での各種設定

以下の例は、「Settings」のメニューで、「Power Button」を Enable にする手順です。
変更前の Home Button は m50 は Enable で、m51 が Disable になっています。

1) 「Device Groups」の 管理したい Gr のギアマークをクリックします。(例は PM)

5 Devices

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	Home Button	Delete
<input type="checkbox"/>	DemoPM2105	C213A60030	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA	web	Disabled	
<input type="checkbox"/>	DemoPM2201	G213A50737	6.000.014.0014+p	Elo-Japan	NA	web	Disabled	
<input type="checkbox"/>	Z30QC	I213A70105	5.000.033.0013+p	SR	test1	draw	Disabled	
<input type="checkbox"/>	m50	E213A00319	5.000.032.0071+p	PM	NA	be	Enabled	
<input type="checkbox"/>	m51	K24M300012	7.000.000.0304+p	PM	NA		Disabled	

2) デバイス毎と同様に「Groups Details」のメニューが表示されますので、「Settings」タブを選択します。

Group Details PM

Reboot Devices Enterprise Reset

Info Settings Contents On Group Whitelist Reboot Timer Peripheral Configuration Apps Reset Exception GMS Settings Software

Device Mode Control

Brightness 75%

Volume 80%

Time Zone (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

Display Timer On 08:30 AM Off 06:15 PM

Language Japanese - 日本語

Interface

Power Button Interactive Overlay

Control Panel Password Enabled

Lockscreen Passcode

Device Key Remap

Device Wakeup Source

Admin Password

Access Restriction Password Disabled

Quick Settings Access Wifi Bluetooth

Screen Density 160 MDPI (1.0x)

Software IMPORTANT README READ SECURITY UPDATE Update All

Orientation Not Set

Camera Shortcut Disabled

Auto Accept NFC and Camera Usage Microphone

3) 「Power Button」のステータス変更のために、右上の「EDIT」をクリックし、「Power Button」右のボックスをチェックし、右上の「APPLY」をクリックします。

Group Details PM

Reboot Devices Enterprise Reset

Info Settings Contents On Group Whitelist Reboot Timer Peripheral Configuration Apps

(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

Display Timer On 08:30 AM Off 06:15 PM

Language Japanese - 日本語

Interface

Power Button Interactive Overlay

Admin Password



Quick Settings Access Wifi Bluetooth

Screen Density 160 MDPI (1.0x)

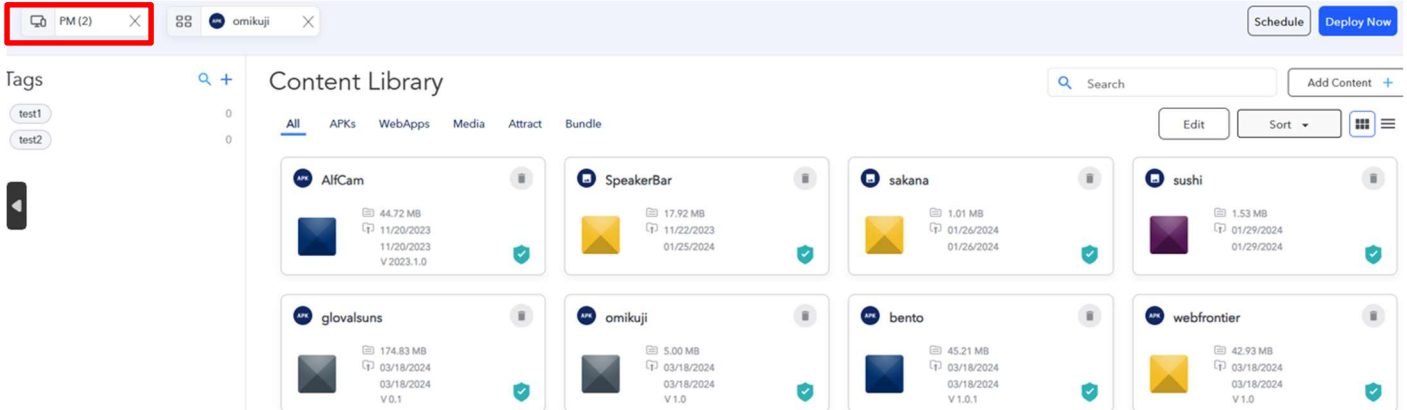
Software IMPORTANT README READ SECURITY UPDATE Update All

Orientation Camera Shortcut

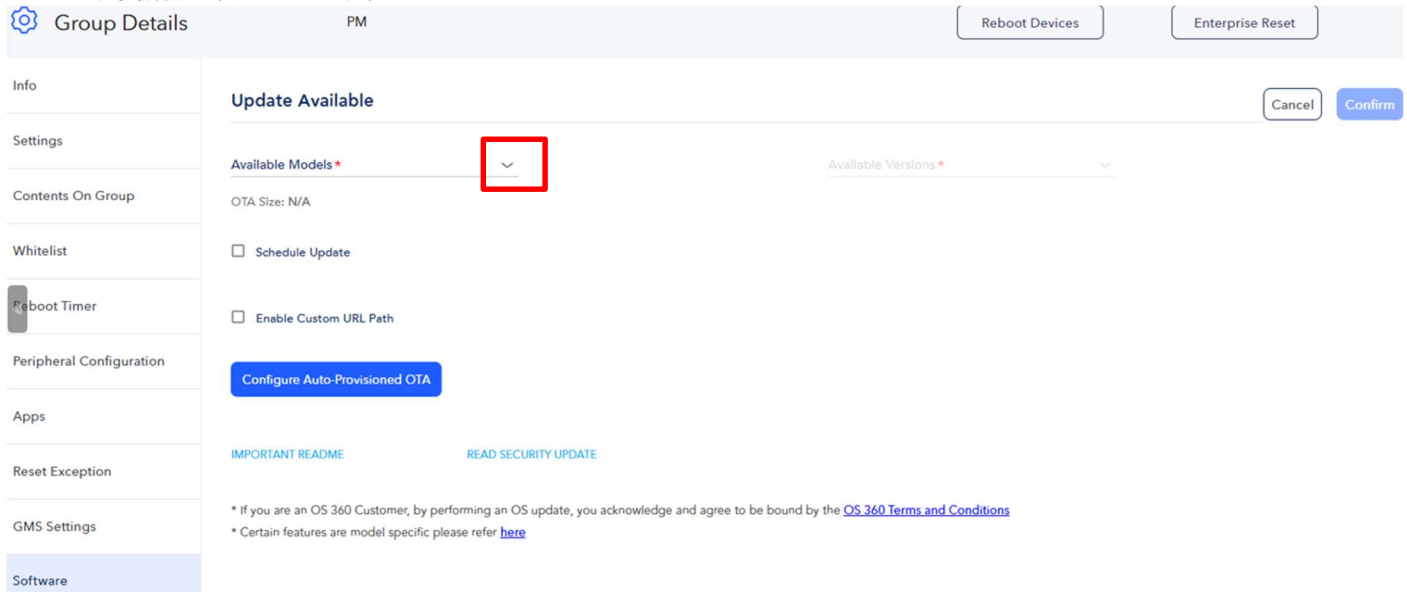
4) 再度デバイス画面を表示させると、Power Button の Status が m50、m51 とともに Enabled に変わっていることが確認できます。

m50	E213A00319	5.000.032.0071+p	PM	NA		ben	Enabled
m51	K24M300012	7.000.000.0304+p	PM	NA			Enabled

a) コンテンツ配信の場合は、デバイスのアイコンではなく、Gr のアイコンをドラッグ&ドロップすることにより、Gr 一括配信が可能です。(例は PM の 2 台)



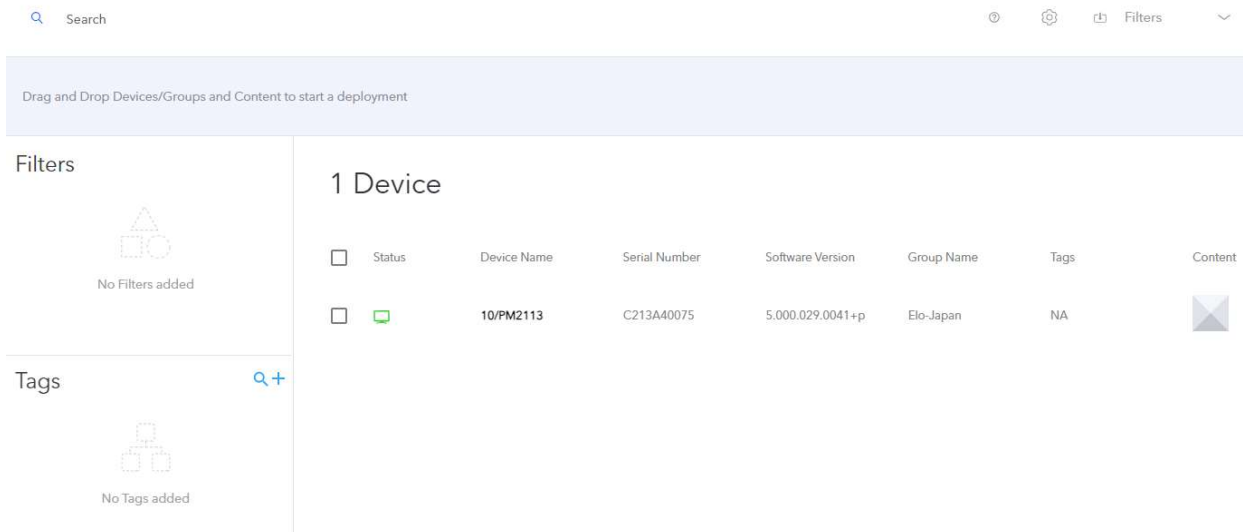
b) ソフトウェアのアップデートの場合も、同様一括でアップデートすることができます。右の V アイコンをクリックすると対象機器が表示されます。



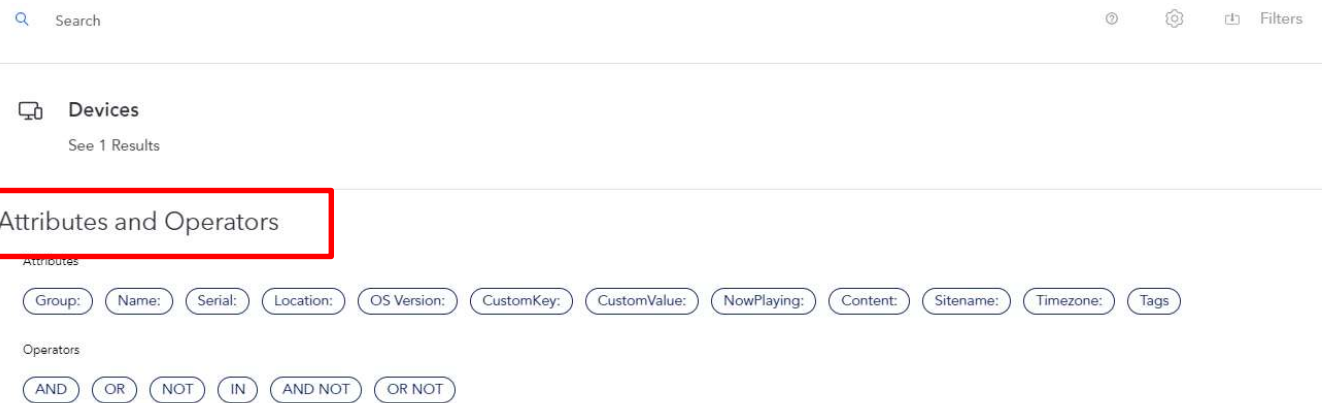
但し、一部オフラインだったり、通信に問題があった場合に、一部デバイスはエラーになってしまう場合がありますので、うまく実行できたかは、確認を行ってください。

3.6.3 Filter による管理

1) Device リスト画面で、左上の「Search」をクリックすると検索画面が表示されます。



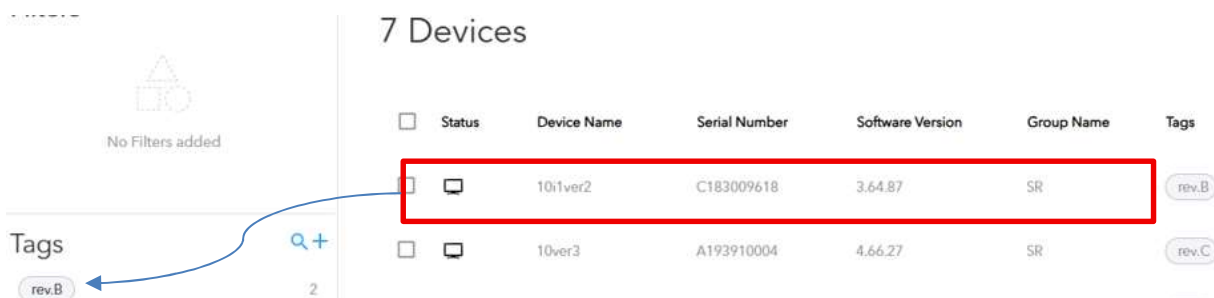
2) 「Attributes and Operators」で、「Group」などの Filter する項目が表示されますので、一括管理に利用ください。



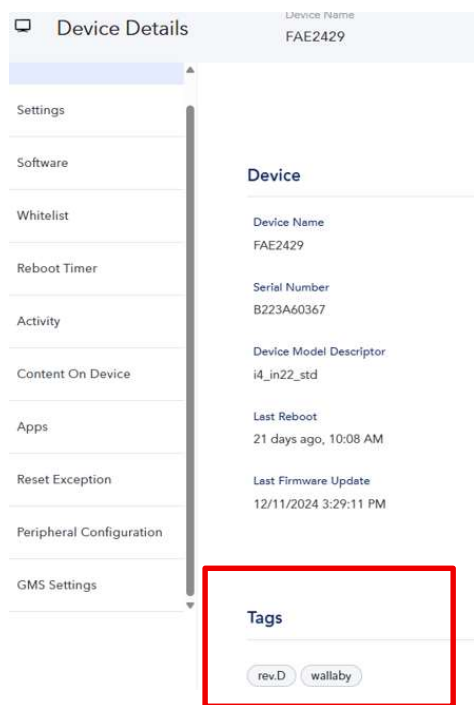
3.6.4 Tag による管理

デバイスやアプリケーションに「Tag」を設定すると、管理が容易になります。

選択した Device を「Tags」内の希望するタグのアイコンにドラッグ & ドロップすることにより、設定できます。(例は rev.B)



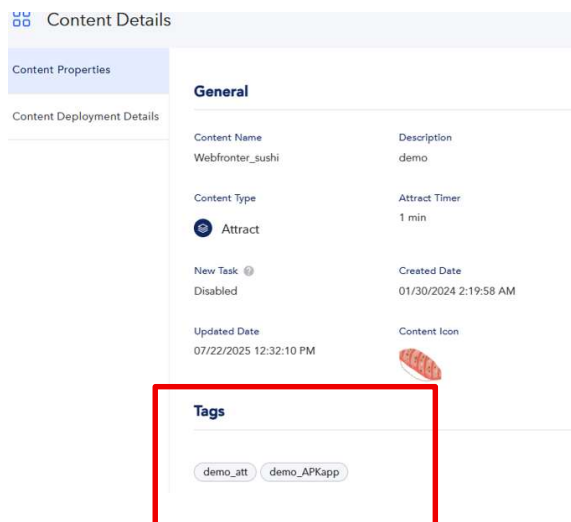
備考)以下のように複数のタグに設定できます。



予め、「Tags」に登録されている場合は、デバイス登録時の CSV ファイルの「Tags」に記載すれば、設定できます。


*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Adre	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075									Asia/Tokyo	TPS

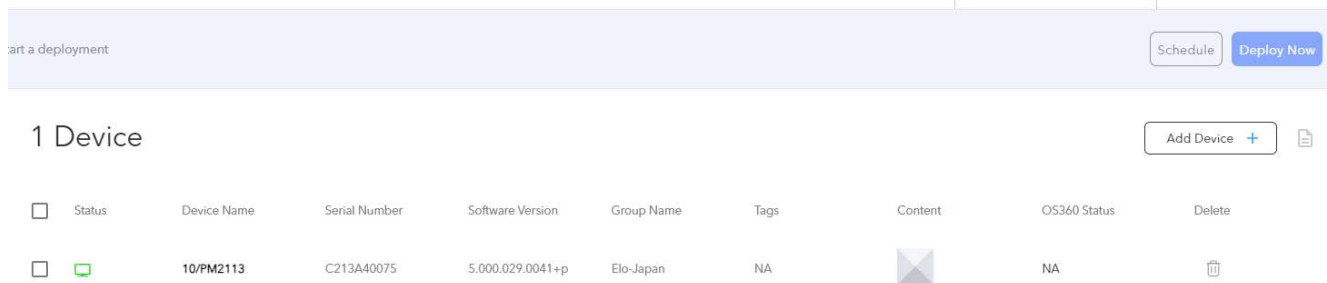
登録するアプリケーションにも Tag をつけることができます。



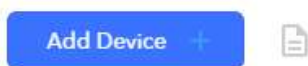
3.7 登録 Device 情報一括出力

3.7.1 Device 情報のファイル出力

1) デバイスリスト画面右の  ノートタブ をクリックする。



3) 以下のように、メニューが表示されますので、設定された一部のリストの場合は「Custom Reports」の右のダウンロードアイコンを、全てのリストの場合は、「Full Report」の右のダウンロードアイコンをクリックして、csv ファイルを出力する。
また、「Custom Reports」の項目を変更する場合は、「Customize Columns」右のギアマークをクリックして、項目を変更してください。



以下が「Custom Reports」の「例です」。

serial	Tags	osVersion	deviceModel	currentPlatform	online	deviceName	groupName	os360
C213A400	--	5.000.029.	control	{contentS	TRUE	10/PM211	Elo-Japan	--

4. コンテンツ関係(Content)

注意)登録可能な各ファイルのサイズは最大 2GMB で,ファイル数は 370 です。

ファイル名に日本語は使用しないで下さい。(アルファベットあるいは数字などを使用して下さい。)

インストール可能なコンテンツは APK, Web アプリ(URL), Media(静止画,mp4(動画))の 3 種類です。(但し、“Multi App”モードでは APK のみ登録可)

備考)静止画は jpeg,png,pdf,txt を zip にしたもの(圧縮方法は Deflate あるいは非圧縮で、解凍時に各ファイルがルートに配置されるようにする)です。

注意)同一アカウントで、upload 済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver 名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。

また、上記を組み合わせて登録することができます。

- “ATTRACT”(Attract loop): Primary コンテンツが、設定されたタイムアウト後、Secondary コンテンツに切り替わり、画面タッチで再度 Primary コンテンツに切り替わる。(メインアプリと待ち受け画面の切り替えとして利用)
- “Bundle”: フォアグラウンド以外に、カメラ取得データのクラウドへの送信などの最大 5 つのバックグラウンドコンテンツが登録可能で、選択したコンテンツを動作させることができます。

4.1 アプリケーション/コンテンツのアップロード

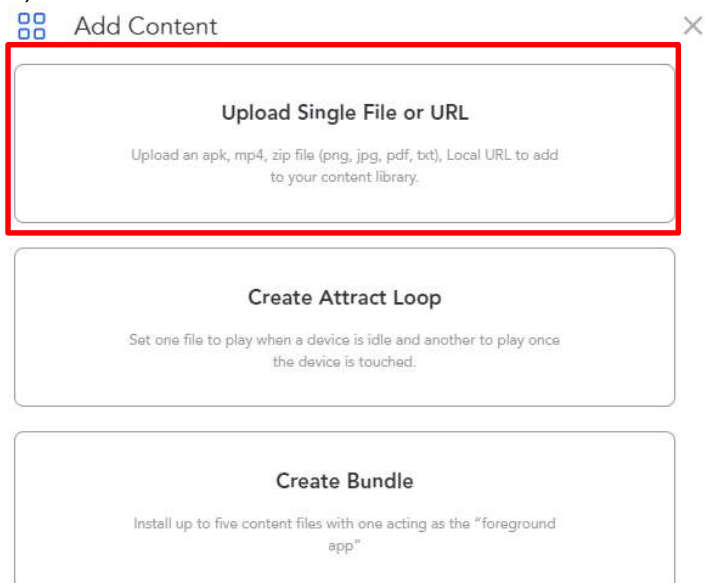
4.1.1 単独コンテンツのアップロード

4.1.1.1 Android アプリ, Web アプリ, Web アプリ及び動画(mp4)、Zip 化した PDF,jpeg,png などの静止画

- 「CONTENT」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



- 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1 番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。



- 3) 以下のように表示された後、「Select File」をクリックする。但し、Web アプリでは URL を入力してください。

Drag and Drop file here
or
Select File
Upload an apk, mp4, zip file (png, jpg, pdf, txt), Local URL to add to your content library.

Or add URL Local URL

Back Next

- 4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。

Drag and Drop file here
or
Select File
Upload an apk, mp4, zip file (png, jpg, pdf, txt), Local URL to add to your content library.

Text to Speech_5.2.0_Apkpure.apk 19832.289 KB

Or add URL Local URL

Back **Next**

- 5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。

Text to Speech_5.2.0_Apkpure.apk Change

Choose App Icon

Content Name

Description

Add Tag

Tag Name +

Cancel **Add Content**

注意)同一アカウントで、upload 済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver.名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。

また、異なる「Content Name」に変更して、バージョンの異なる APK を追加して登録する場合は、追加するバージョンの APK の「Version Code」設定を登録済みバージョンの APK より大きい数字に設定してください。

以下は Elo_presentation.apk の例です。

Content メニューで、表示される「Content Library」のアプリのアイコンをダブルクリックし、「Content Details」で表示される「Version Code」です。

Content Library


Search Add Content +

All APKs WebApps Media Attract Bundle

Edit Sort  


MetaMoji

30.98 MB
11/20/2023
V 3.1.13.0




AlfCam

44.72 MB
11/20/2023
V 2023.1.0



Elo_presentation

73.39 KB
01/25/2024



Content Details

Content Properties

Content Deployments Detail

General

Content Name	Description	Package Name	Version
Elo_presentation	demo	com.elo.presentation	1.0.1
Version Code	Content Type	New Task	File Name
1	APK	Disabled	EloPresentation.apk
File Size	Created Date	Updated Date	Content Icon
73.39 KB	01/25/2024 10:29:47 AM	01/25/2024 10:29:51 AM	 ↓

この APK の「Version Code」設定を変更できない場合は、Devices > Settings タブにある「Allow Content Downgrade」設定を Enable にして、右上にある「Apply」をクリックし、適用してください。

Device Details ✕

Device Name	Serial Number	Software Version	Site Address
10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	JP

Info

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Activity

Contents On Device

Apps

Reset Exception

Peripheral Configuration

GMS Settings

Power Button	<input type="checkbox"/>	Interactive Overlay	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Home Button	<input type="checkbox"/>	Android Nav Bar	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Virtual Keyboard	<input checked="" type="checkbox"/>	Touch Sound	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Android Home	<input type="checkbox"/>				

Network



Last Connected: ✓ 10.50.1.70 ✓ 1C:EE:C9:24:34:FE

Network Configuration: WiFi LAN Mobile

EST: Auto Correct:

Auto Play: Content Pinning:


DFS: **Allow Content Downgrade:**

6) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  から  に変わったことを確認して終了。

All APKs WebApps Media Attract Bundle


MetaMoji

30.98 MB
11/20/2023
V 3.1.13.0

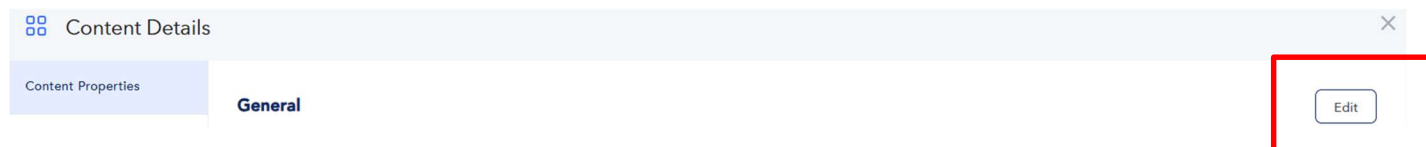


outdoor_demo

51.34 MB
11/20/2023

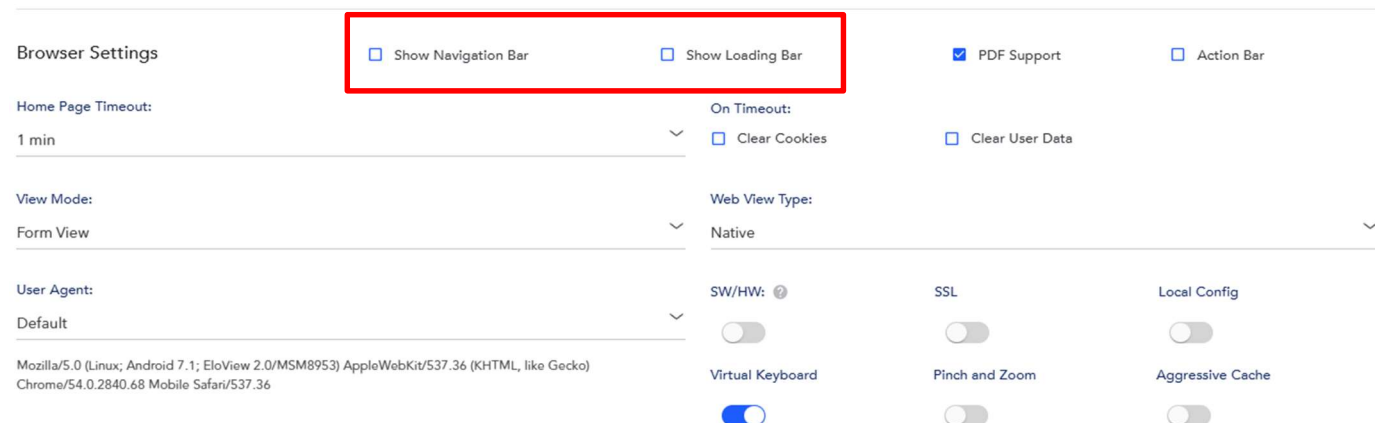


但し、Web アプリの場合は、デフォルト設定が ナビゲーションバーの表示であったり、他のコンテンツと対応が異なります。登録したアプリのアイコンをクリックし、以下の「Content Details」を表示し、右側の「Edit」をクリックして、「Advanced Features」を変更することができます。



以下は、ナビゲーションバー等を非表示に変更した例です。その他カメラ等へのアクセスを化にする「SW/HW」や「User Agent」、On Timeout の「Clear User Data」なども希望に応じて設定して下さい。

Advanced Features



注意)上記ナビゲーションバーを非表示にしても、3.3.3 項の「Android Nav Bar」にチェックが入っていると、ナビゲーションバーは非表示にはなりません。

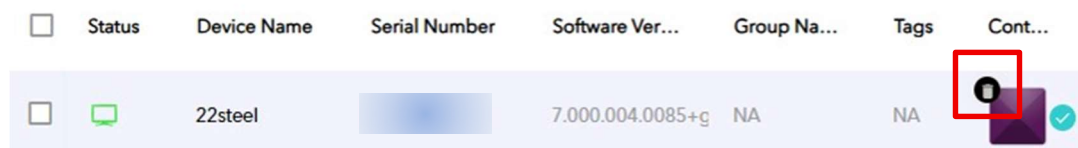
最後に、右上の「Apply」アイコンをクリックして設定は終了です。



但し、デバイスに反映するためには、この状態で再度配信する必要があります。

その際、既にデバイスに配信済であった場合は、デバイスの Content アイコンの上にカーソルを移動し、左上に表示されるゴミ箱アイコンをクリックして、一旦デバイスに登録されているコンテンツを削除し、再度コンテンツを配信して下さい。

同一コンテンツ名で、配信した場合、内容が変更されていても、正しく配信されない場合があります。




4.1.1.2 ローカル Web アプリ

ローカル Web アプリの場合は、web サイト情報を含むすべての必要なファイル (HTML、JavaScript、CSS、画像、メディア) を、予め 1 つのファイルに Zip 化しておいてください。その際に、すべてのファイルはルートに保存して下さい。

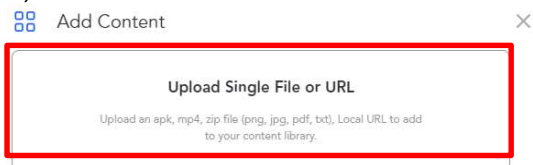
注意) PHP、Ruby などのサーバーサイドスクリプトはサポートされていません。

外部サーバーなどにアクセスする仕様の場合で、オフラインでも動作させたい場合は、ローカル Web サーバーを立てる等の対応を実施下さい。

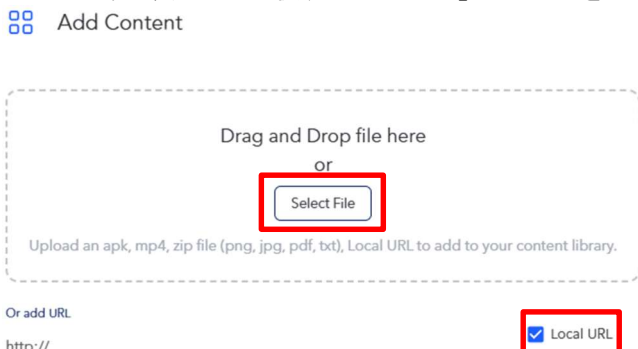
- 1) 「CONTENT」  アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」 の右にある「Add Content +」をクリックします。



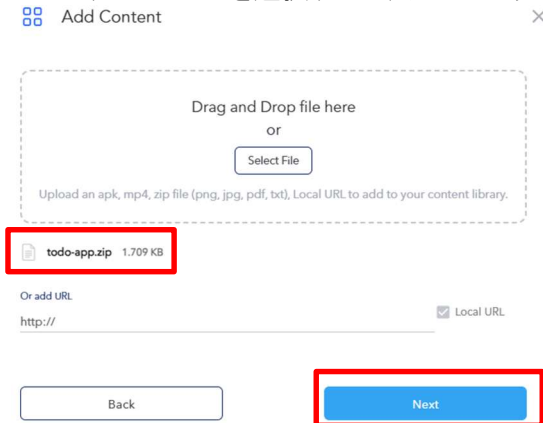
- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1 番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。




- 3) 以下のように表示された後、「Local URL」にチェックを入れた後、「Select File」をクリックしてください。




- 4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。



- 5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。

 Add Content ×

Change

 Choose App Icon



Content Name

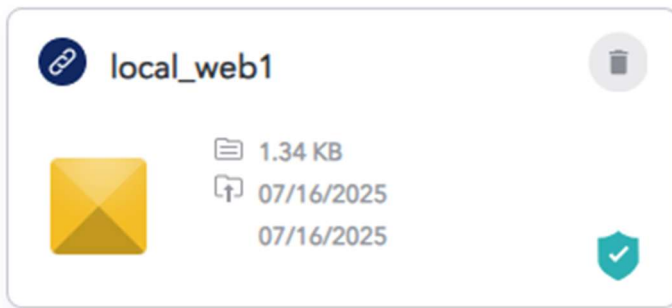
Set Home Page

Description

Add Tag
 +

Add Content

- 6) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  から  に変わったことを確認します。



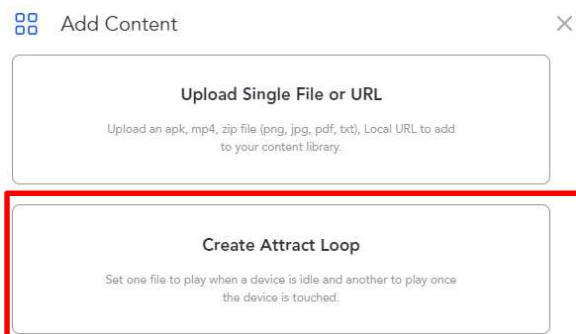
- 7) ローカル Web アプリも、Web アプリ同様に、「Advanced Features」を設定し、終了です。特に、ナビゲーションバーなどを非表示にする場合は、変更が必要です。

4.1.2 Attract の登録

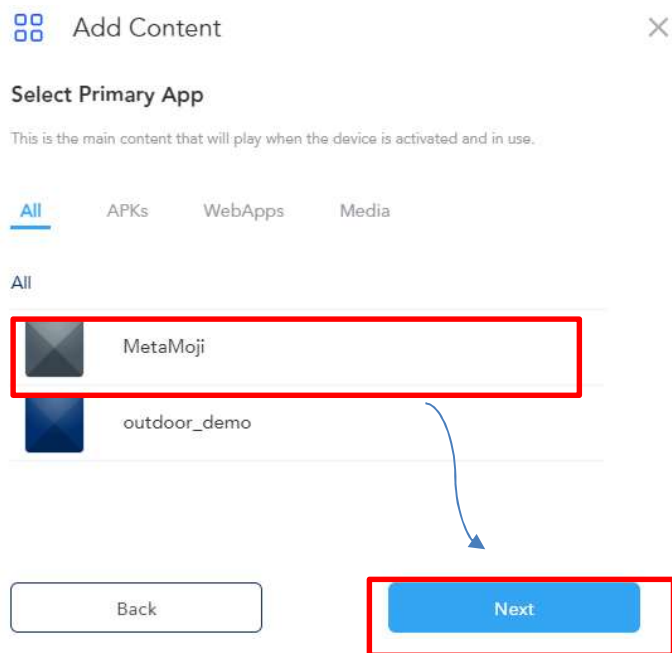
- 1) 「CONTENT」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



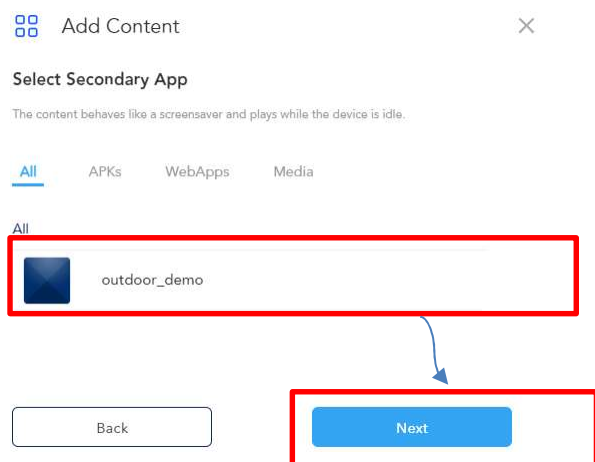
- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2 番目の「Create Attract Loop」をクリックする。



- 3) 以下のように、「Primary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。
備考)「Primary」アプリは、画面にタッチした後に、実行されるメインアプリになります。



- 4) 以下のように、「Secondary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。
備考)「Secondary」アプリは、タッチ動作がない状態で、設定した「Attract Timer」時間を経過した場合に実行されるコンテンツ（主に、動画や静止画）になります。



- 5) 以下のように、表示されるので「Attract Timer」(「Primary」で設定時間放置後、「Secondary」にアプリが切り替わる時間)をプルダウンで選択し、「Next」をクリックする。

Select Primary App

Change



MetaMoji

Select Secondary App

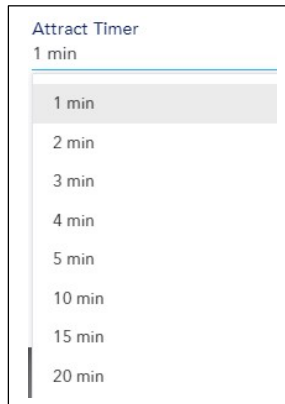
Change



outdoor_demo

Attract Timer
1 min

The attract timer determines the amount of inactive time before the primary applications reverts to the secondary.



New Task ⓘ

Back

Next

備考)「Secondary App」から「Primary App」に戻る場合、デフォルトでは、「Primary App」のデータはリセットされます。(アプリケーションの再起動)

Primary App にログインなどが必要な場合は、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力が必要になります。

その場合、以下のように New Task (Attract Timer の下に配置)にチェックを入れると、Primary App のデータは維持され、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力などは不要になります。

Attract Timer
1 min

The attract timer determines the amount of inactive time before the primary applications reverts to the secondary.

New Task ⓘ

- 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。



Content Name


Description

Add Tag

Tag Name

Cancel

Add Content

- 7) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  であることを確認して終了。

Content Library

All APks WebApps Media Attract Bundle

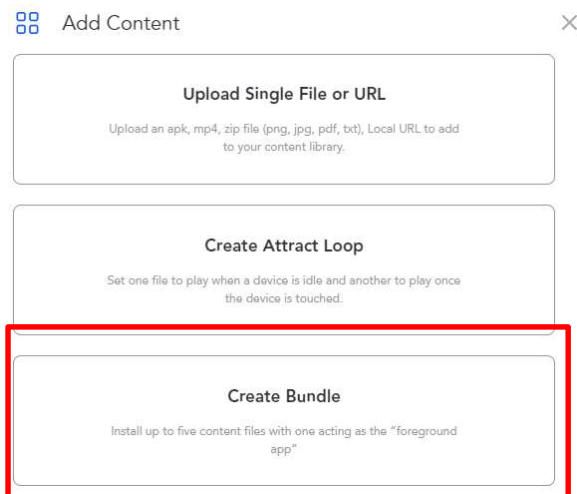


4.1.3 Bundle の登録

- 1) 「Content」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2 番目の「Create Bundle」をクリックする。



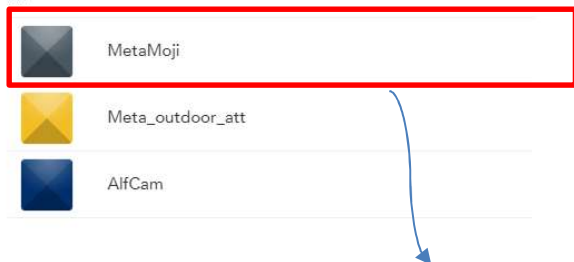
- 3) 以下のように、Foreground アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。

Select Foreground App

This is the primary application that your user will see when interacting with the device.

All APks WebApps Media Attract

All



- 4) 以下のように、Background アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、順番の数字を選択し、「Run」にチェックを入れて、「Next」をクリックする。

Select Background App (Up to 5)

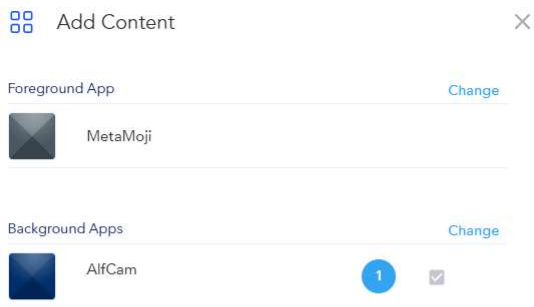
Select up to 5 applications that will be downloaded and installed on the device in addition the foreground application.

All APks WebApps Media Attract

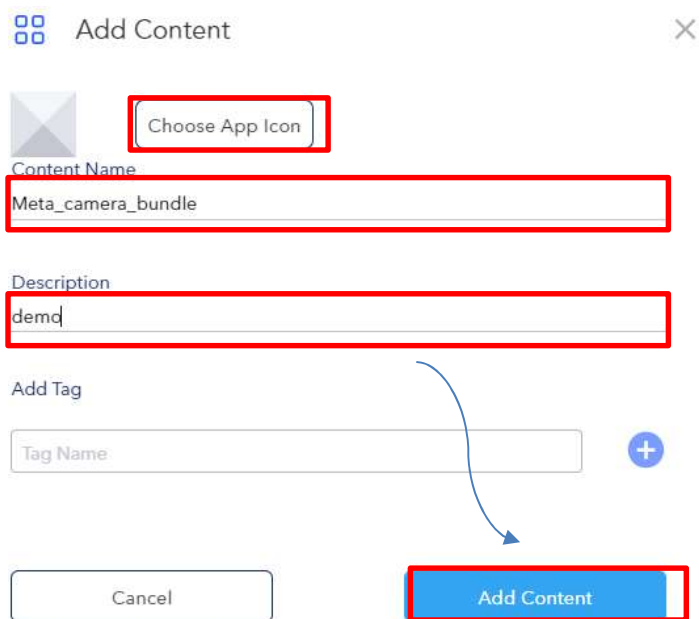
All




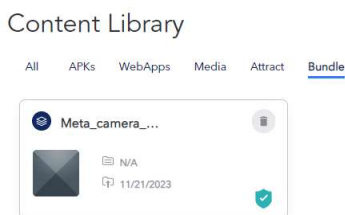
- 5) 以下のように、設定したアプリが表示されるので、「Next」をクリックする。



- 6) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。



- 7) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  であることを確認して終了。



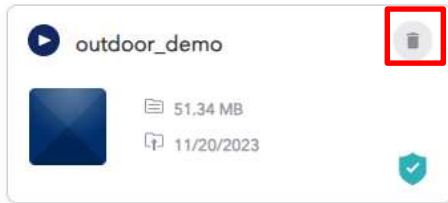
4.2 アプリケーション/コンテンツのアンインストール(削除)

4.2.1 EloView からの削除

- 1) 「Content」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、削除するコンテンツ表示右上のゴミ箱アイコンをクリックします。

Content Library

All APks WebApps Media Attract Bundle



- 2) 削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。

Selected below content is NOT associated with any device.

Do you want to delete this content?



- 3) 「Content Library」からコンテンツが削除されていることを確認して終了です。

Content Library

All APks WebApps Media Attract Bundle

4.2.2 デバイスからの削除

- 1) 「Devices」アイコン をクリックし、デバイスリスト画面を表示し、コンテンツアイコンの上に、マウスカーソルを移動します。

2 Devices

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA	Speaker...	NA	

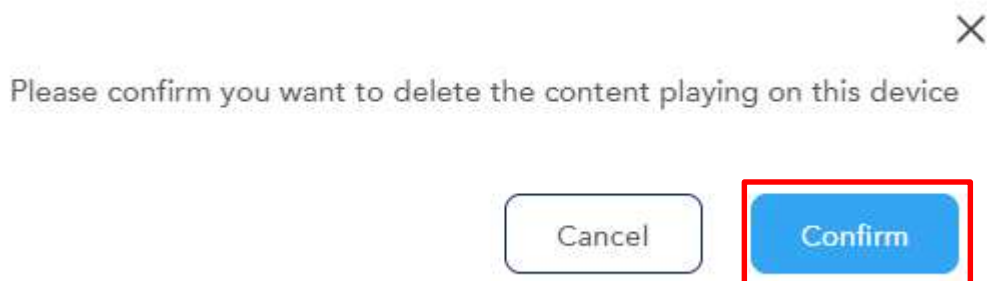
- 2) アイコン左上に、ゴミ箱アイコンが表示されますので、クリックします。

2 Devices

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA	Speaker...	NA	

- 3) 削除の確認メッセージが表示されますので、「Confirm」を選択します。



- 4) 削除したメッセージが表示され、Content アイコンが、消えて、右側のコンテンツ名も消えて終了です。

2 Devices

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

4.3 アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除

以下はデバイスへの適用になりますので、オンラインの状態を実施する必要があります。

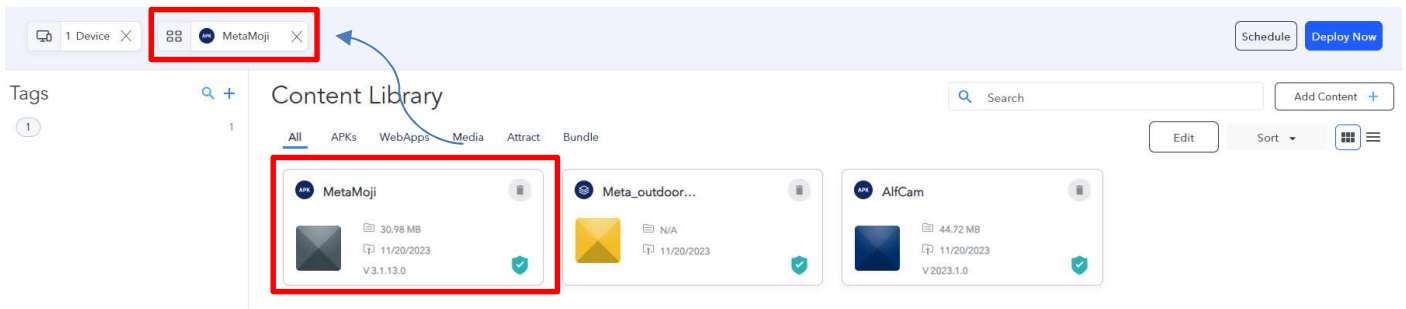
4.3.1 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール

4.3.1.1 直ぐにインストールする場合

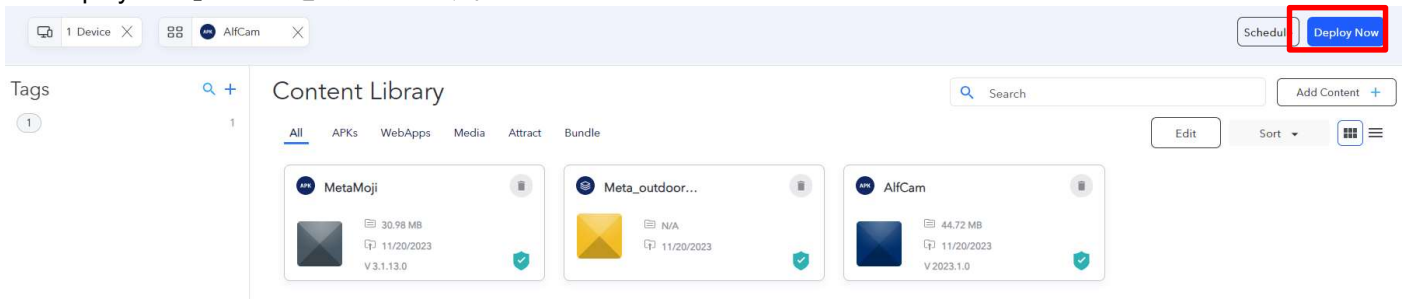
- 1) Device タブ をクリックし、Device がリストされている画面を表示し、インストールするデバイス(あるいはグループ)を選択し、上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。



- 2) Content タブ をクリックし、「Content Library」画面を表示し、インストールするコンテンツを上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。



3) 「Deploy Now」アイコンをクリックします。



4) インストールの確認画面が、表示されますので、「Yes」をクリックします。

Are you sure you want to proceed with the deployment?



5) コンテンツがインストールされたメッセージが表示されますので、再度、デバイスタブをクリックし、コンテンツがインストールされていることを確認して、終了です。

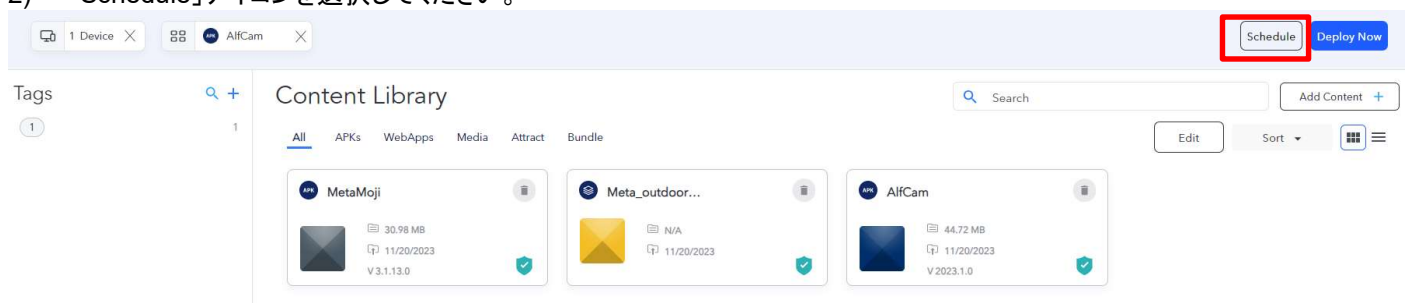
1 Device

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA		NA	

4.3.1.2 コンテンツの配布時間を遅らせて設定する場合(スケジュール)

- 1) デバイス及びコンテンツの選択は、4.3.1.1 直ぐにインストールする場合の 1)~2)までと同様に実施してください。
- 2) 「Schedule」アイコンを選択してください。



3) 以下のような画面が表示されますので、「Always」が選択されていることを確認後、日時を設定後、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。

Schedule Type

Always During a Period of Time

Starts

📅 04/04/2024

From

10

:

40

AM

PM

UTC Time zone

Summary

Content Name
bento

Content Type
APK

Schedule Type
Always

Save Schedule

Add To Deployment Package

4) 以下の画面に戻ったら、右上の「Deploy Scheduled」アイコンをクリックします。

5) 以下のように確認の画面が表示されますので、「Yes」をクリックします。

×

Are you sure you want to proceed with the deployment?

No

Yes

6) メニュー左上の「Deployment」アイコン をクリックし、「Deployment Packages」が表示され、「Scheduled」タブ内に、インストールする予定のコンテンツの情報が表示されていることを確認して終了です。

Deployment Packages

Recent Scheduled Saved

Status	Devices	Content	Schedule	User	Date/Time	Actions
● Scheduled	1 Device	sakana	10:55 AM - Apr 4	MT	04/04/2024 - 10:42:50 AM	

4.3.1.3 アプリ／コンテンツ配布状況を確認(Deployment Packages)

1) メニュー左上の「Deployment」アイコン をクリックすると、以下のような「Deployment Packages」が表示されます。

TPS powered by EtoView

Drag and Drop Devices/Groups and Content to start a deployment

Schedule

Deploy Now

Deployment Packages

Recent Scheduled Saved

Status	Devices	Content	Schedule	User	Date/Time	Actions


2) 「Recent」タブを選択すると「Deploy Now」で配布された内に、インストールしたコンテンツの情報が表示されています。

Deployment Packages

Recent Scheduled Saved

Status Devices Content Schedule User Date/Time Actions
● Immediate 1 Device webfrontier_sushi N/A MT 04/03/2024 - 5:16:41 PM

- 3) 「Scheduled」タブを選択すると 4.3.1.2 で「Deploy Scheduled」で時間を遅らせて配布設定したコンテンツが表示されません。
- 4) 「Saved」タブを選択すると 4.3.1.2 で「Save Schedule」を選択した場合のコンテンツが表示されます。


注意) 右側に表示されている Actions の下の  をクリックし、「Deployment Packages」の登録情報を削除した場合、そのコンテンツはデバイスから削除されますので、注意してください。

Date/Time

Actions

04/03/2024 - 5:16:41 PM



誤って  をクリックした場合は、以下の削除確認メッセージが表示された場合、「Cancel」をクリックしてください。



Are you sure you want to delete the scheduled content? This content schedule is currently published on 1 device(s)

Cancel

Confirm

4.3.1.4 デフォルトアプリ／コンテンツの登録

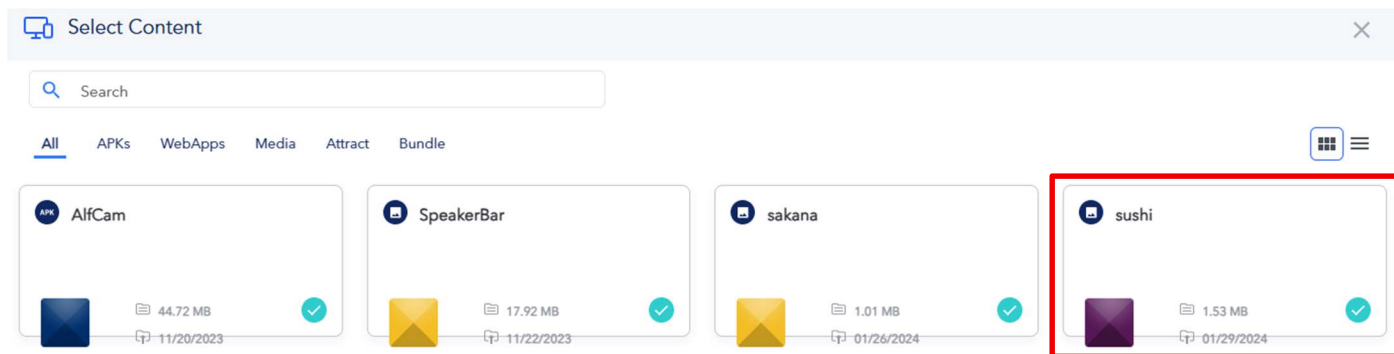
デフォルトのアプリ／コンテンツを設定することができます。アプリ／コンテンツの配信が設定(スケジュール設定)されていない場合は、デフォルトのアプリ／コンテンツが起動します。

- 1) 各デバイスの「Device Details」を表示し(あるいは、「Account Details」)し、「Content On Device」タブを選択し、右上の「Add Default Content To Device」をクリックする。

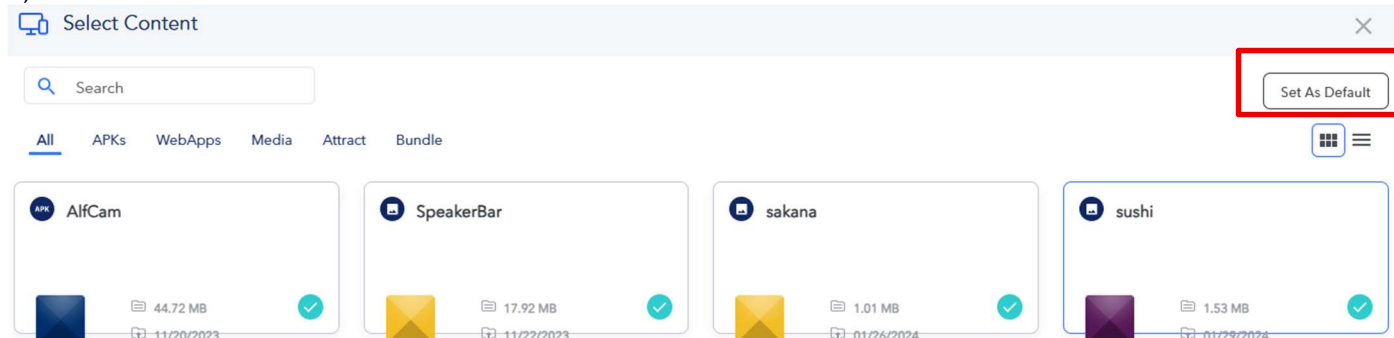


The screenshot shows the 'Device Details' page for a device named 'DemoPM2201'. The 'Content On Device' tab is selected in the left sidebar. The main content area shows 'Default Content on Device' with a message 'No Default Content on Device' and four empty dashed boxes. A red box highlights the 'Add Default Content To Device' button in the top right corner. A blue arrow points from the 'Content On Device' tab to the button. The 'Published Content on Device' section is also visible at the bottom.

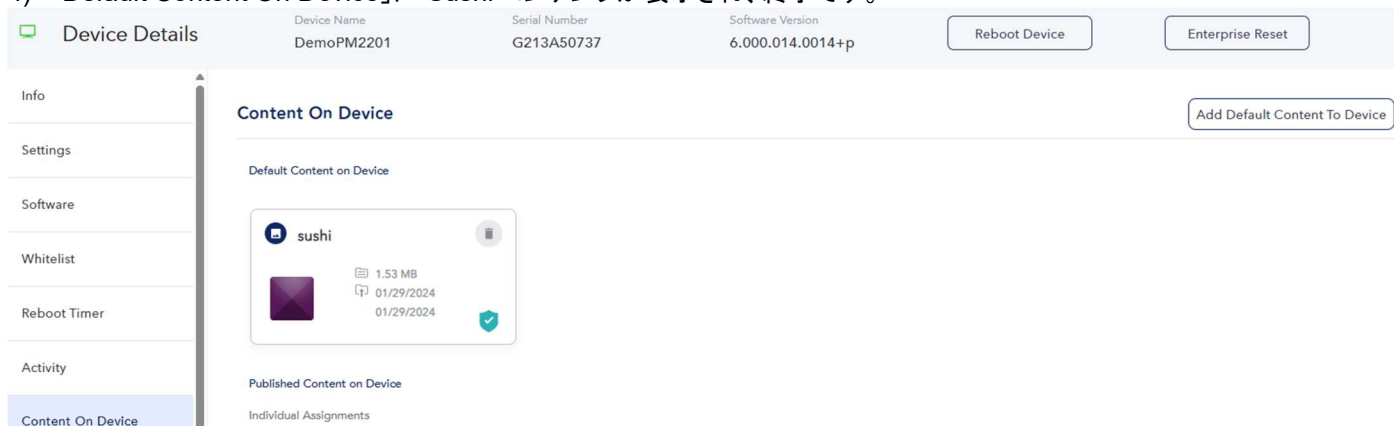
2) 「Select Content」メニューが表示されるので、アプリ/コンテンツを選択する。(例は Sushi)



3) 選択されたアプリ/コンテンツの枠が青く表示され、右上に、「Set As Default」が表示されるので、クリックする。



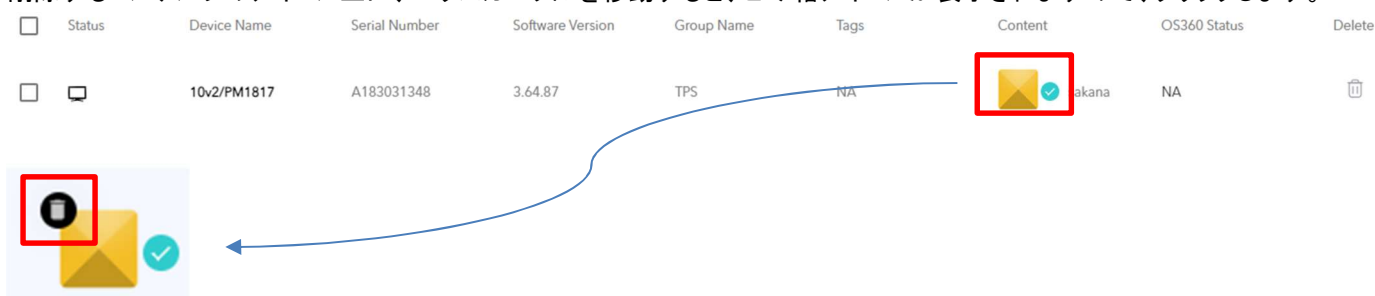
4) 「Default Content On Device」に「Sushi」コンテンツが表示され、終了です。



4.3.2 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツの削除

1) デバイスタブをクリックして、デバイスリストが表示されている画面を表示します。

2) 削除するコンテンツのアイコン上に、マウスカーソルを移動すると、ごみ箱アイコンが表示されますので、クリックします。



3) 以下のように、削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。

Please confirm you want to delete the content playing on this device



4) 「Content」右側の表示が消えていることを確認して終了です。

1 Device

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA		NA	

4.3.3 “Multi App” モードでの”Elo Home”画面へのアプリアイコン表示(インストール)

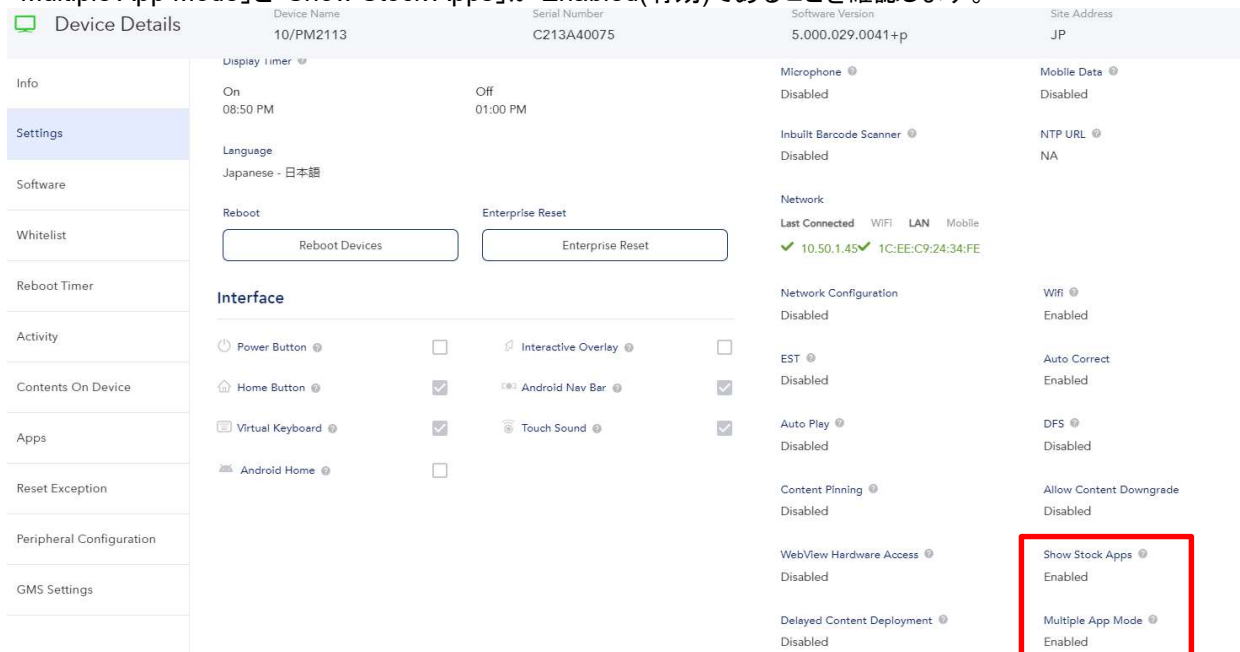
備考) 予め”Single App”モードで、アプリケーションをデバイスにインストールしている場合は、おくほうが早く画面に表示させることができます。

以下は「draw.apk」と「Elo Installed Apps」及び「GMS Apps」を”Elo Home”に表示させる場合の例です。

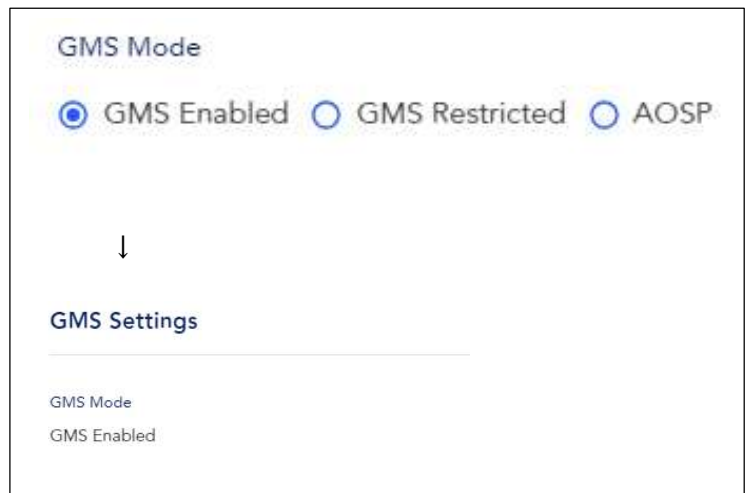
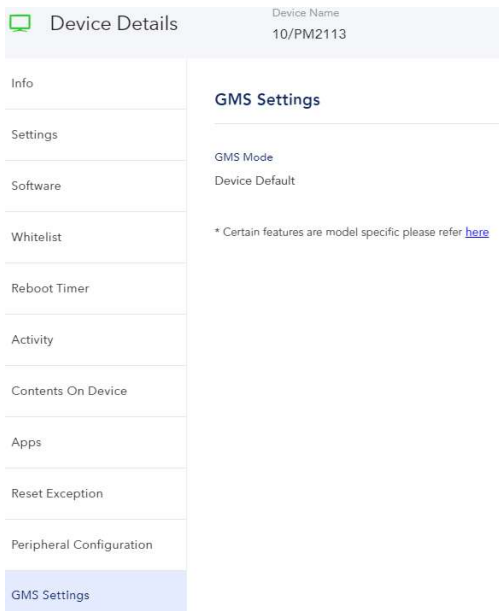
- 1) まず、Devices タブをクリックし、表示されたメニューの「Settings」タブで、「Edit」を選択し、右下に表示されている「Multiple App Mode」を以下のように有効にします。プリインストールされたアプリも表示する場合は、同時に「Show Stock Apps」も有効に、右上の「Apply」をクリックします。



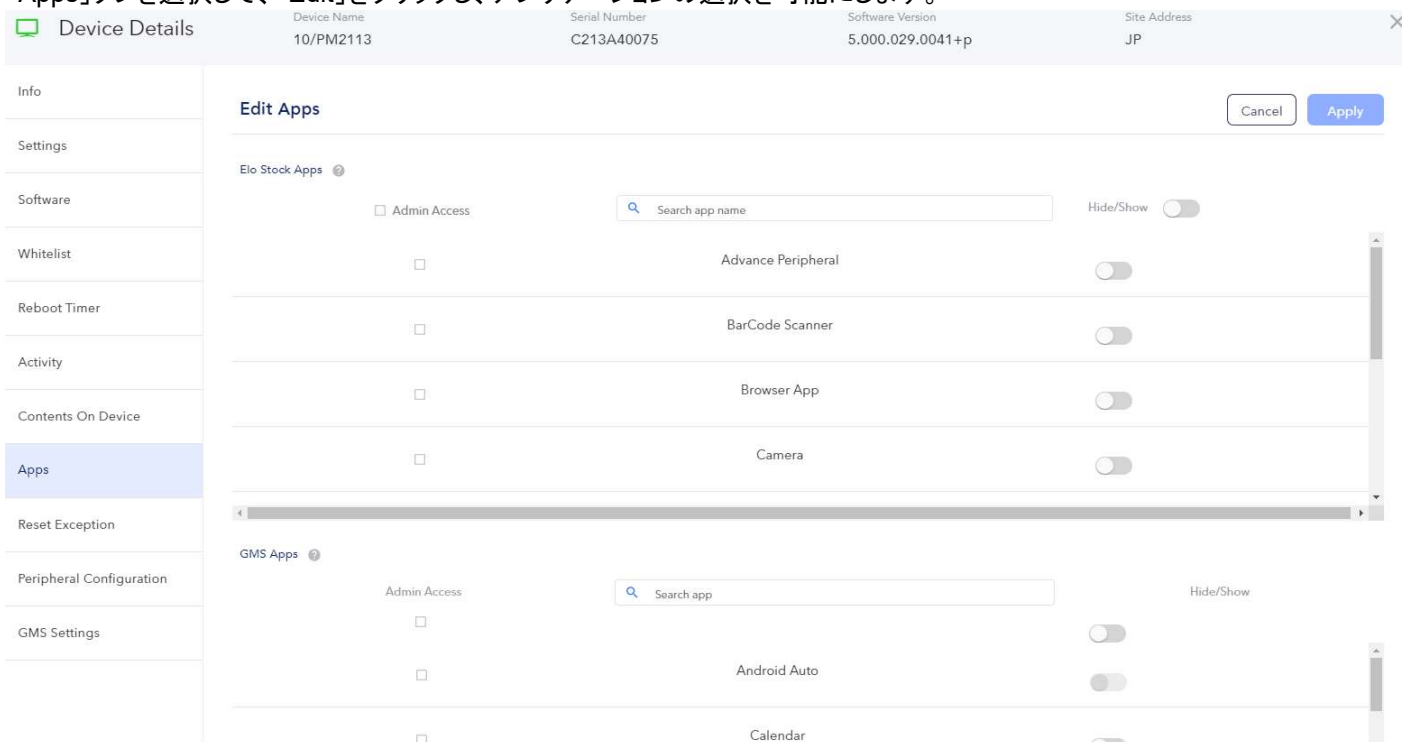
- 2) 「Multiple App Mode」と「Show Stock Apps」が Enabled(有効)であることを確認します。



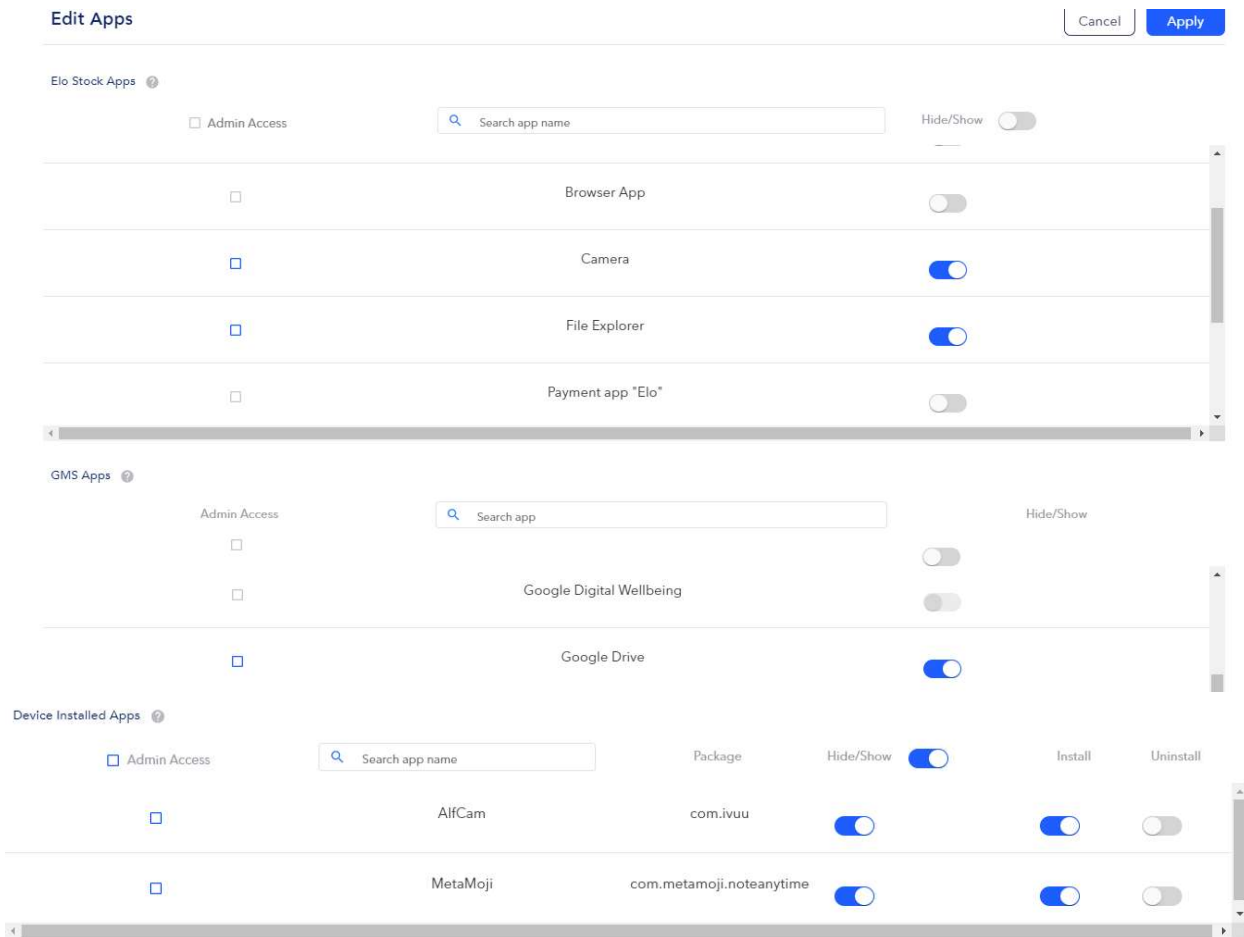
- 3) Google のアプリを表示するためには、「GMS Settings」タブを選択して、右上の「Edit」をクリックし、表示される項目から「GMS Enabled」あるいは「GMS Restricted」を選択して、「Apply」をクリックして下さい。例は GMS Enabled
備考) ”GMS Restricted”モードは、アプリ設定が少し異なりますので、注意して下さい。また”AOSP”モード時では GMS アプリは使用できません。



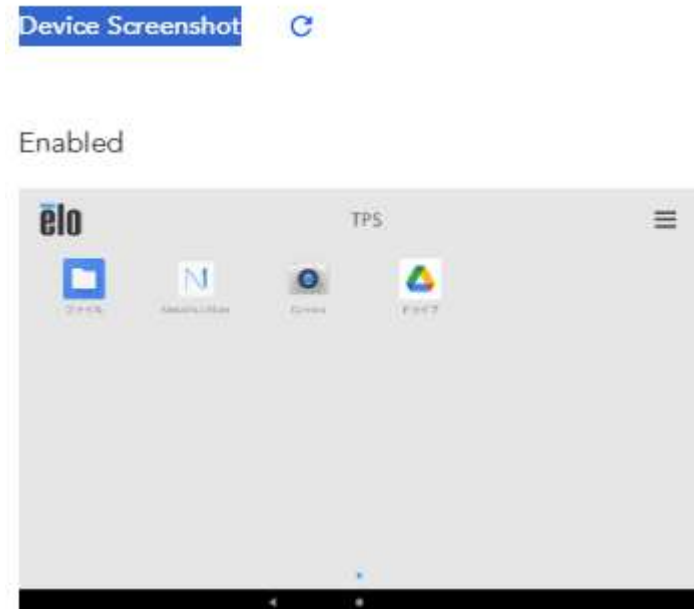
4) 「Apps」タブを選択して、「Edit」をクリックし、アプリケーションの選択を可能にします。



5) 上から、「Elo Stock Apps」(プリインストール)、「GMS Apps」(Google アプリ)、「Device Installed Apps」(EloView 登録アプリ)の順で、表示されますので、メニューに表示させるアプリを有効にして、右上の「Apply」をクリックして下さい。以下は、「Camera」、「File Explore」、「Google Drive」と2つのEloView 登録アプリを追加した例です。この時「Admin Access」にチェックを入れると、「Admin」でログイン時にのみアプリケーションが使用可能になりますので、注意して下さい。



- 6) 「Info」タブで、「Device Screenshot」を有効にすると、以下のように表示メニューが確認できます。



備考) 予め"Single App"モードでアプリをデバイスにインストール済のアプリは直ぐにメニューに表示されますが、そうでない場合はインストール後に表示されます。

- 7) 最後に、デバイスに表示されている画面を確認して終了です。

4.4 Web アプリのための設定変更

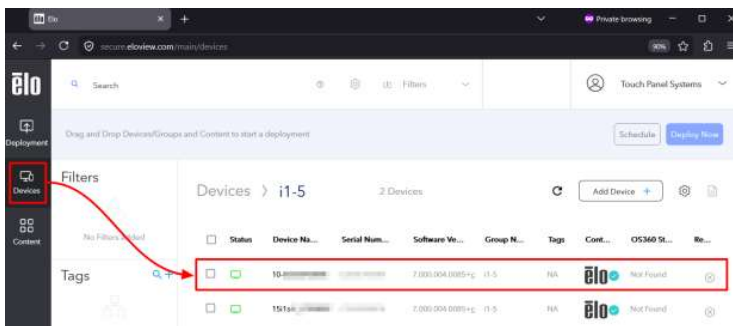
4.4.1 GMS restrict mode への変更

Web アプリを動作させるために、Google 提供の Android System WebView (Android 標準コンポーネント)を使用しています。そのために、Google Play Store が WebView を自動的にアップデートする際に、使用中のアプリケーションが再起動されることがあります。対策として、Google Play Store を無効にすることで WebView の自動アップデートを停止できます。

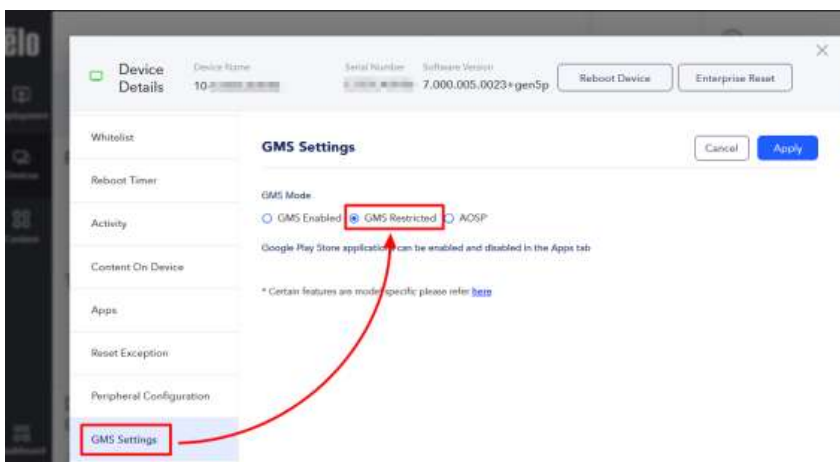
なお、Google Play Store を無効化すると、Google が提供しているアプリの更新や Play サービスが利用できなくなるため、運用上問題がないか十分ご確認のうえ設定してください。

以下はデバイス毎に Google Play Store を無効化する手順です。

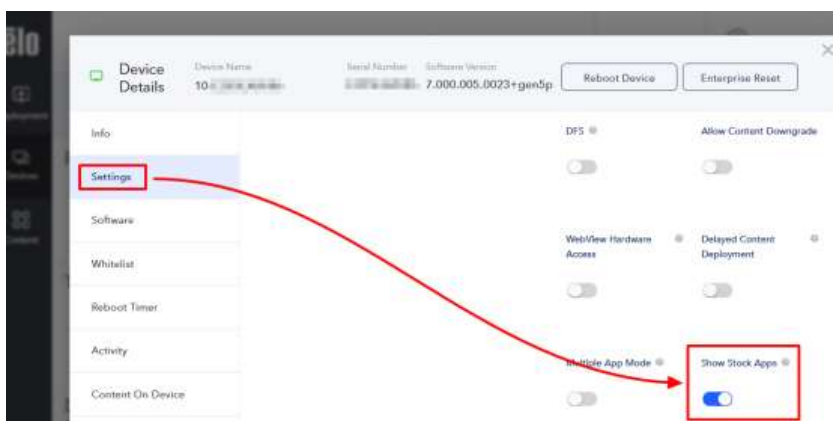
1) Devices をクリックして、自動アップデートに停止を行うデバイスを選択します。



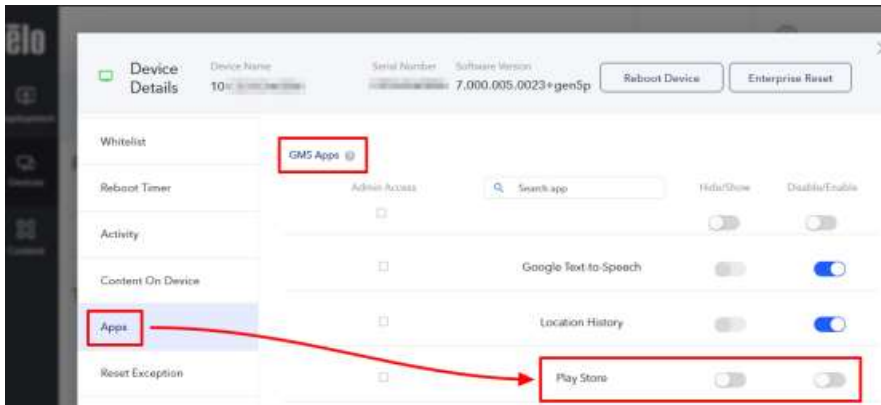
2) 「GMS Settings」を選択し、右上の「Edit」ボタンをクリックして「GMS Restricted」を選択し、「Apply」ボタンをクリックして設定を変更します。設定を変更した場合、デバイスは、自動的に再起動します。



3) 「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして、「Show Stock Apps」の設定をオンにします。



4) 「Devices」→「Apps」を選択して、左上の「Edit」ボタンをクリックします。「GMS Apps」までスクロールして、GMS アプリの下の方にスクロールすると、「Play Store」があるので、スイッチをオフに変更します。



4.4.2 各種設定の変更

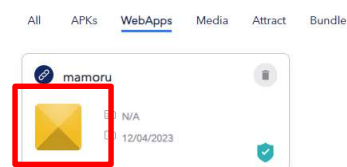
Web アプリの場合は、デフォルト設定が ナビゲーションバーの表示であったり、他のコンテンツと対応が異なります。

登録したアプリのアイコンをクリックし、以下の「Content Details」を表示し、右側の「Edit」をクリックして、「Advanced Features」を変更することができます。

- a) ナビゲーションバーなどの非表示(必要に応じて)
- b) WebRTC 対応
- c) Timeout の変更
- d) Timeout 時のアプリデータのクリア
- e) User Agent の変更

1) App Library 内の WEBAPPS タブの登録した Web アプリのアイコンをクリックし、右上に表示される「Edit」を選択する。

Content Library

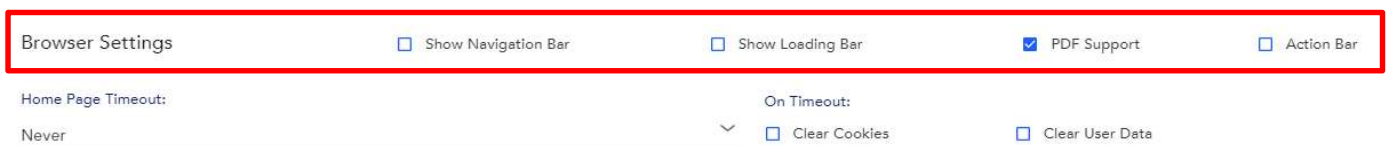


2) 各種設定変更を行う。「Advanced Features」

a) ナビゲーションバー非表示

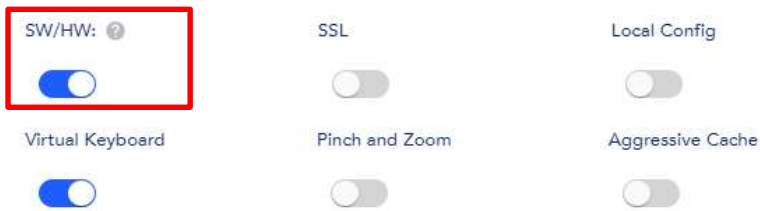
以下のように、各 Bar のチェックマークを解除する。「Browser Settings」

Advanced Features



注意)上記ナビゲーションバーを非表示にしても、3.3.3 項の「Android Nav Bar」にチェックが入っていると、ナビゲーションバーは非表示にはなりません。

b) WebRTC 対応
SW/HW を以下のように Enable に変更する。



c) Timeout の変更
一定時間経過後に、最初に表示される画面に戻すためには、以下の Home Page Timeout を設定する。

Browser Settings

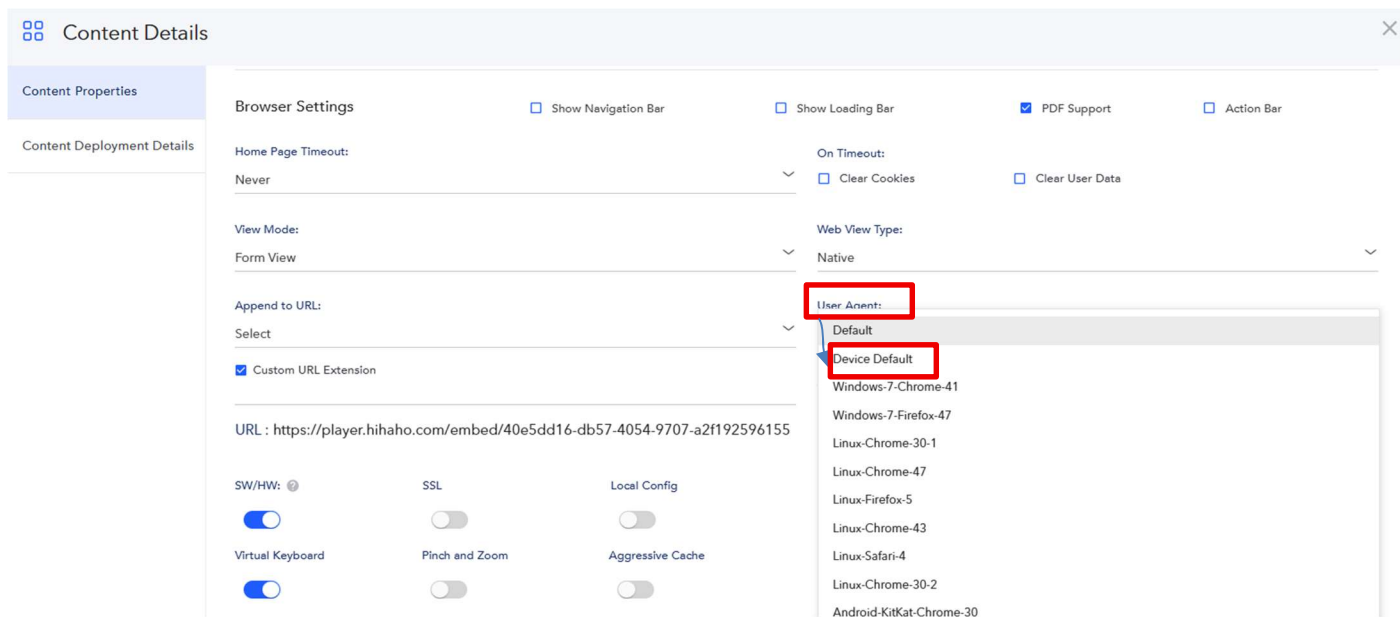


d) Timeout 時のアプリデータのクリア

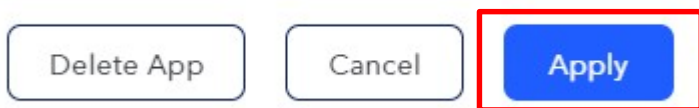


e) User Agent の変更

Chrome では発生しなかったエラー(url へのアクセスができないエラーなど)が EloView で、発生する場合 Use Agent を「Default」から「Device Default」に変更すると改善される場合があります。



3) 右上の「Apply」をクリックし、変更が終了したメッセージが表示され終了。



また、設定デバイスに反映するためには、この状態で再度配信する必要があります。

その際、既にデバイスに配信済であった場合は、デバイスの Content アイコンの上にカーソルを移動し、左上に表示されるゴミ箱アイコンをクリックして、一旦デバイスに登録されているコンテンツを削除し、再度コンテンツを配信して下さい。(4.4.2 参照)

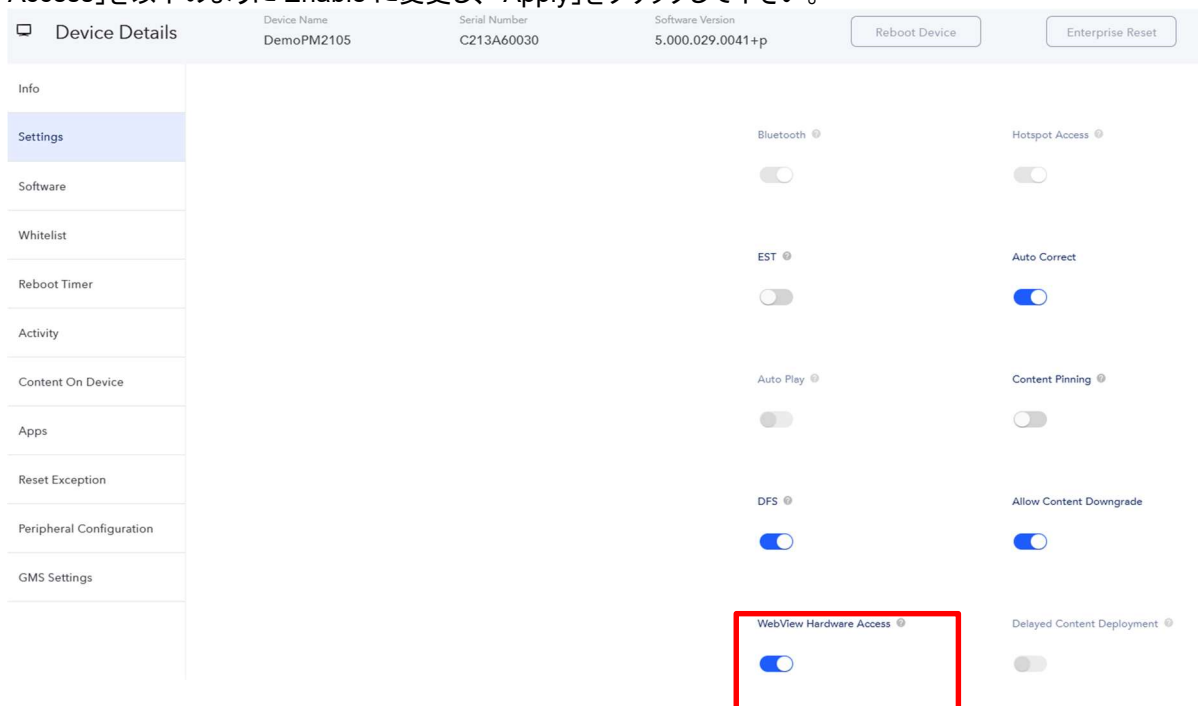
同一コンテンツ名で、配信した場合、内容が変更されていても、正しく配信されない場合があります。

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Ver...	Group Na...	Tags	Cont...
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	22steel		7.000.004.0085+g	NA	NA	

更に、Web アプリを使用する場合、「Device Details」あるいは「Account Details」内の「Settings」タブ内の「WebView Hardware Access」設定を Enable にして下さい。

WebView がコンテンツを表示する際に、動作がスムーズになります。

以下は「Device Details」内の設定画面例です。 変更する場合は右上の「EDIT」をクリックして、「WebView Hardware Access」を以下のように Enable に変更し、「Apply」をクリックして下さい。



Device Details

Device Name: DemoPM2105 | Serial Number: C213A60030 | Software Version: 5.000.029.0041+p

Buttons: Reboot Device, Enterprise Reset

Settings List:

- Bluetooth:
- Hotspot Access:
- EST:
- Auto Correct:
- Auto Play:
- Content Pinning:
- DFS:
- Allow Content Downgrade:
- WebView Hardware Access: (highlighted)
- Delayed Content Deployment:

5. アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule)

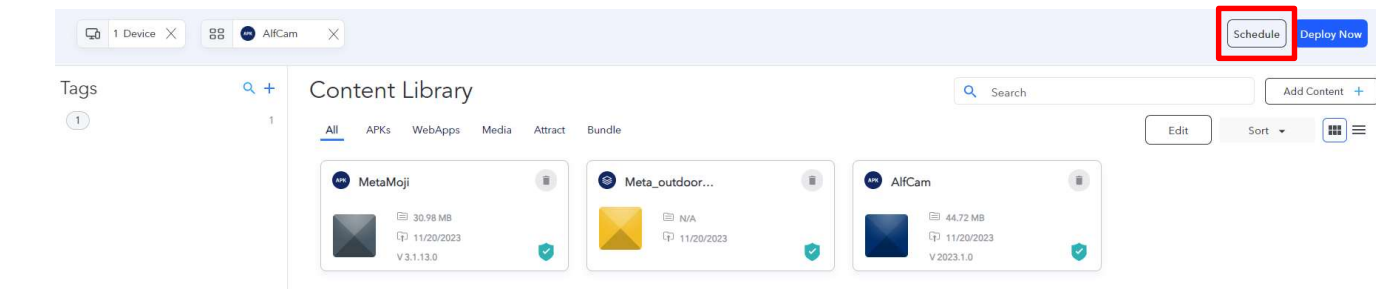
動作させるアプリケーション/コンテンツのスケジュールを EloView で設定しておくことができます。

実行するためには、オンライン状態にしておく必要があります。但し、「Single App」モードでのみ利用可能です。

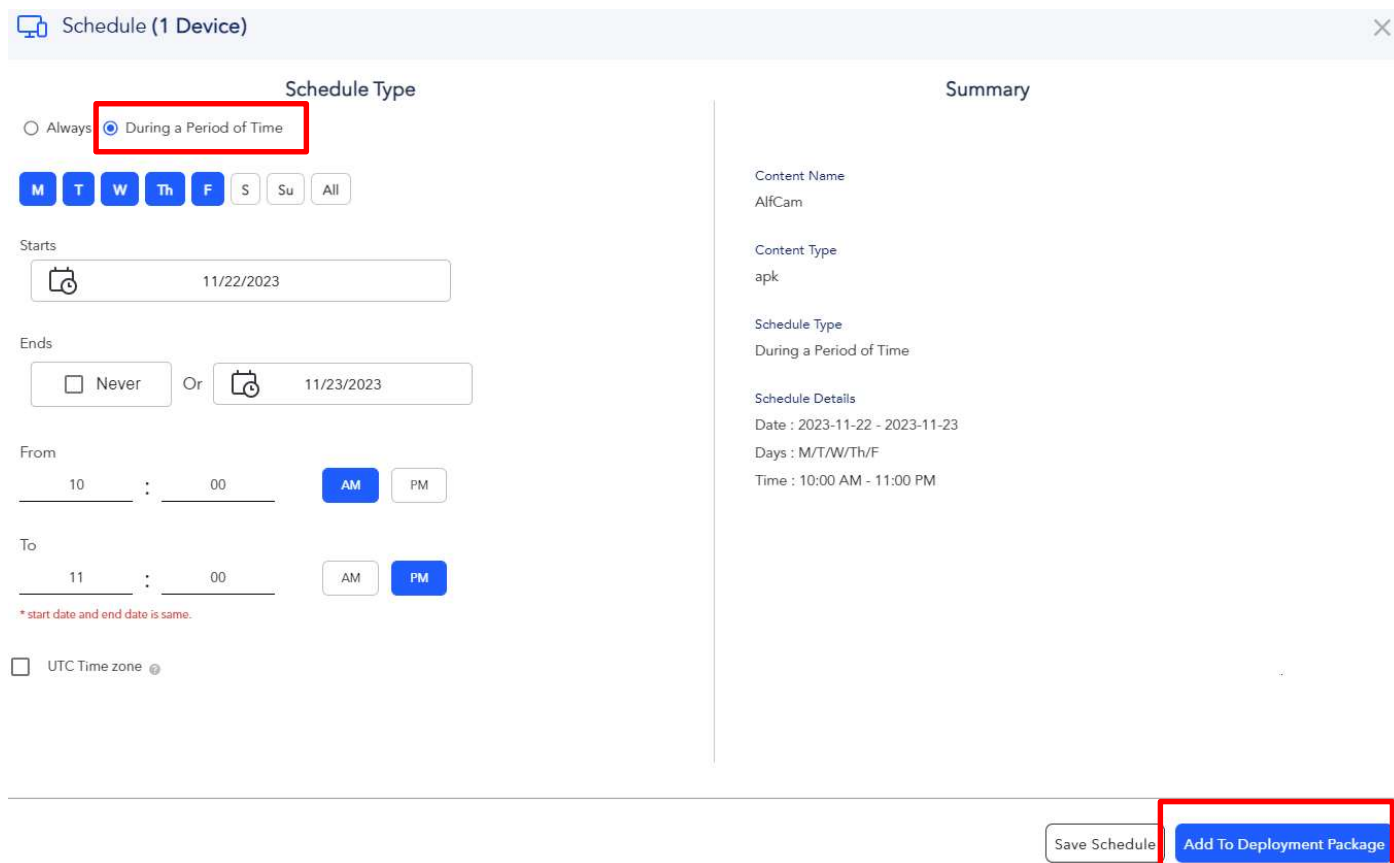
注意)このスケジュールの設定後直ぐに、デバイスに反映することができない場合があるので、設定時間の約15分前までには、スケジュール設定を完了して下さい。

5.1 アプリケーション動作スケジュールの作成

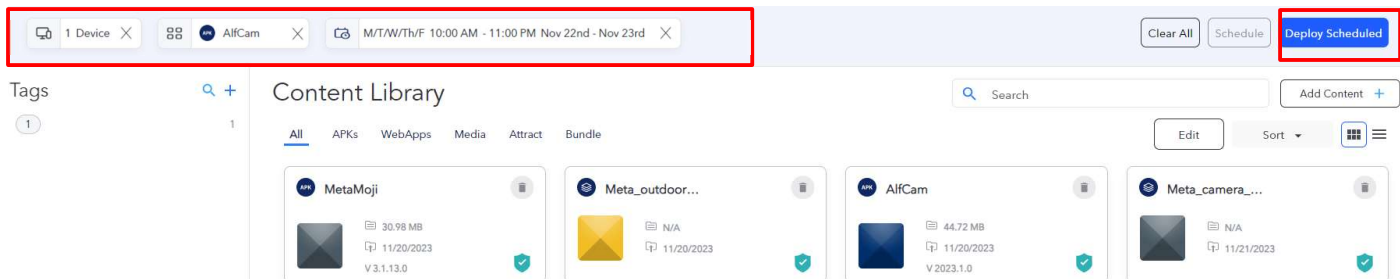
- 1) 4.3.1 2)までは、直後にコンテンツをインストール場合と同様に、インストールするデバイスとコンテンツを登録し、右上に表示される「Schedule」を選択します。



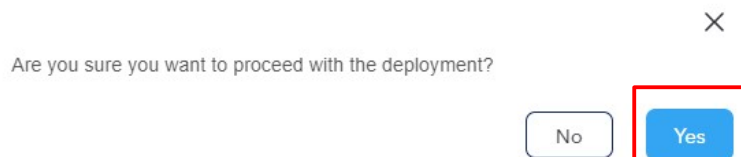
- 2) 表示された画面の左上の「During a Period of Time」を選択すると以下のようにメニューが変更されますので、時間を設定し、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。




3) Deployment Bar 上に、設定されていることを確認後、「Deploy Scheduled」をクリックします。



4) 確認メッセージが表示されますので、「Yes」をクリックすると、コンテンツが登録されたメッセージが表示されます。



5) 「Deployment」アイコン  をクリックし、「Deployment Packages」のメニューを表示させます。「Recent」タブで表示されていますので、「Scheduled」タブを選択します。



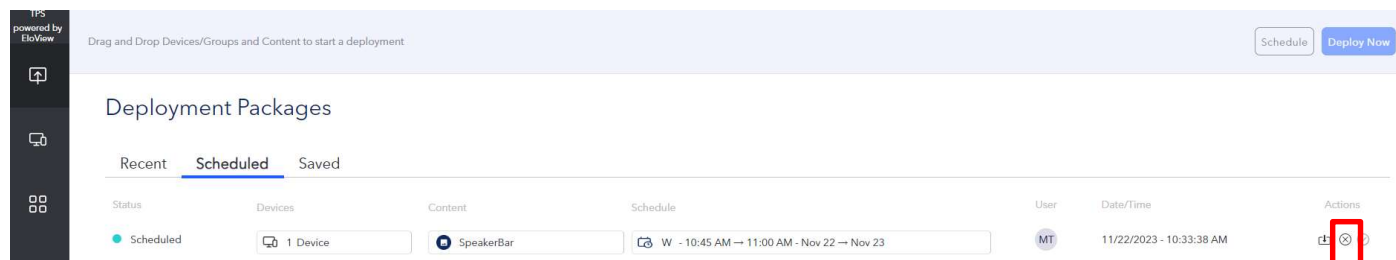
6) 以下のように、登録したコンテンツが表示されていることを確認し終了です。




詳細を確認したい場合は、上記表示画面の「Devices」、「Content」、「Schedule」をクリックし、それぞれの Details を表示して確認して下さい。

5.2 アプリケーション動作スケジュールの削除

- 1) 削除するスケジュールの右の  アイコンをクリックして、Delete します。

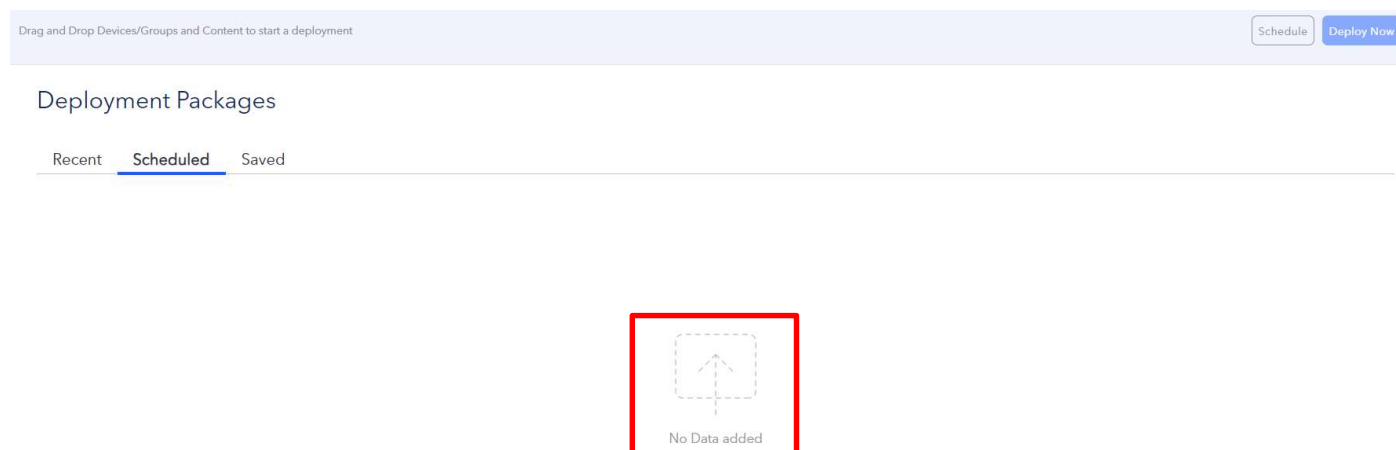


- 2) 削除の確認の表示がされますので、「Confirm」をクリックします。


Are you sure you want to delete the scheduled content? This content schedule is currently published on 1 device(s)



- 8) スケジュールが削除されたことを確認し、終了です。



6. ネットワーク要件

EloView4 を使用するためのネットワーク要件について説明します。

デバイスが正しく動作するようにするためには、EloView4 のドメインをホワイトリストに登録し、追加のサポート用 URL を許可し、必要なポートが開いていることを確認し、NTP 同期を許可してください。サービスの中断を防ぐため、IP ではなく必ずドメインベースのルールを使用してください。

EloView 4 必須ドメイン

EloView 4 Domains

URL	Uses
https://secure-api.eloview.com/prod	Token API / OTA updates / OS360 Warranty check - outgoing
https://secure-provisioning.eloview.com/prod	Provisioning base URL - outgoing
https://secure-broker.eloview.com	MQTT Broker URL
https://secure-logs.eloview.com	Upload logs / OTA build and private content – outgoing/incoming
https://secure-content.eloview.com	Content icons on device
https://secure-auth.eloview.com	OAuth login by device
https://polaris-prod-public-ota.s3.us-west-2.amazonaws.com/systemUpdate/	For custom OTAs
https://secure.eloview.com/systemUpdate/	System updates

追加必須 URL

<https://cognito-identity.us-west-2.amazonaws.com/>

<https://cognito-idp.us-west-2.amazonaws.com/>

<https://polaris-promote-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com>

<https://polaris-scan-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com>

eloproduct.blob.core.windows.net →(Azure Blob Storage)

*.1e100.net → Google-owned domain used by various APIs and cloud services

*.us-west-2.compute.amazonaws.com → AWS IoT Core and Lambda services

Time Synchronization (NTP)

- *.pool.ntp.org
- time.android.com

- 2.android.pool.ntp.org
- time.google.com

備考): EloView は時間補正のため 2.android.pool.ntp.org サーバーと通信します。

NTP はポート 123 によるフルアクセスが必要です。

Cloudflare CDN

EloView のサービスは、Cloudflare のグローバルコンテンツデリバリーネットワーク(CDN)に依存しています。

- **推奨:** 常にドメイン名 (例: 上記に記載されている EloView ドメイン) でホワイトリスト登録してください。
- **理由:** Cloudflare の IP アドレスは動的で、変更される可能性があります。IP をホワイトリストに登録すると、IP 範囲が更新された際に予期せぬサービス中断が発生する可能性があります。
- **参考情報:** ファイアウォールで明示的な IP の指定が必要な場合、現在使用されているのは以下の IP です:

IPv4 (sample set):

104.16.60.227, 104.16.61.227, 104.16.62.227, 104.16.63.227, 104.16.64.227

IPv6 (sample set):

2606:4700::6810:3ce3, 2606:4700::6810:3de3, 2606:4700::6810:3ee3, 2606:4700::6810:3fe3, 2606:4700::6810:40e3

Required Ports & Protocols

- **443 (HTTPS):** 一般的な EloView 通信のため
- **8883 (MQTT over TLS):** デバイスからクラウドへの安全な通信のため
- **123 (UDP - NTP):** 時刻同期のため

備考) EloView に対応した Android デバイスはデバイスとクラウド間の通信に「**WebSocket**」を使用します。通信はデバイス側から開始されます。

任意利用サービス

TeamViewer を使用される場合は [*teamviewer.com](https://www.teamviewer.com)

7. TeamViewer の使用

EloView からの操作で、TeamViewer を使用して、Android デバイスのリモートコントロール“Remote Control”ができます。

TeamViewer のライセンス (Corporate, Tensor, Tensor Basic, Tensor Pro, Tensor Unlimited) をお客様が、別途準備する必要があります。

備考)「モバイルデバイスサポート」アドオンは不要ですので、追加でモバイルデバイスサポートを購入する必要はありません。

また、ご使用の EloView アカウントで TeamViewer を使用したい旨、弊社まで依頼して頂く必要があります。

その際、EloView のアカウント情報及び Org ID 情報と共に弊社までお問い合わせください。

TeamViewer の使用手順はその際に提示させていただきます。

8. PoE アダプタ使用時の対応

PoE アダプタを使用する場合は、省電力で動作させるために、USB の設定がオフになります。

使用するデバイスの「Device Details」を表示し、「Peripheral Configuration」タブを選択し、使用する USB を Enable にしてください。

注意)以下はすべてが Enable の状態の例です。

The screenshot displays the 'Device Details' window for a device with name 'C213A40075', serial number 'C213A40075', software version '5.000.029.0041+p', and site address 'JP'. The 'Peripheral Configuration' tab is selected, showing a hardware diagram of the device with various USB ports labeled (USB 04, USB 01, USB 06, USB 05, USB 03, USB 02, USB 01, USB 04, USB 05, USB 06). To the right, a list of USB ports is shown, all of which are currently set to 'Enabled'.

USB Port	Status
USB 01	Enabled
USB 02	Enabled
USB 03	Enabled
USB 04	Enabled
USB 05	Enabled
USB 06	Enabled

以上